

とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2013-12 >

日 月 火 水 木 金 土

1 2 3 4 5 6 7

8 9 10 11 12 13 14

15 16 17 18 19 20 21

22 23 24 25 26 27 28

29 30 31

過去ログ

あなたは現在、2013年Decemberの過去ログをしています。

December10日Tuesday: 冬のアシ原は小鳥がいっぱい

カテゴリ: [General](#) 投稿者: [odaya](#)

7日のがたん下見では、風がなく穏やかだったため、たくさんの小鳥の地鳴きを聞くことができました。



「チュイーン」と伸ばした声で鳴くのはオオジュリン。アシの茎の中で越冬しているカイガラムシを食べています。

検索

検索

ナビゲーション

[前の月](#)

[次の月](#)

[今日の投稿](#)

[過去ログ](#)

カテゴリ

[全てのカテゴリ](#)

[General](#)

[お知らせ](#)

[観察会](#)

[観察会下見](#)

[昆虫](#)

[植物](#)

ログイン

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

ログイン

リンク

[我孫子市鳥の博物館](#)

google.co.jp



「チッ」と少し濁った短い声で鳴くのはアオジ。アシ原だけでなく林や公園の藪でも姿を見ることができます。



「チチッ、チチチッ」と2~3声続けて鳴くのはホオジロ。冬にははアシ原や開けた草地で多く見られます。

バードウォッチングは、小鳥の地鳴きを聞き分けられると、楽しみがぐっと広がります。14日のでがたんでは、「声で探す林の冬鳥」をテーマに行います。ぜひぜひご参加下さい。

December 7日Saturday: 決定的瞬間！

カテゴリ: **General** 投稿者: **odaya**

本日午前中は12月の「てがたん」の下見で、博物館周辺を市民スタッフのみなさんと一緒に歩きました。コースを一回りして帰ろうかという時、モズが飛んできて木に止まりました。嘴には何か虫をくわえていきよるきよる辺りを見回しています。これは”はやにえ”をやるのでは？という期待を膨らませて、離れた

ところから望遠鏡で行動を観察することにしました。



セイタカアワダチソウに止まりコカマキリをくわえるモズ。

セイタカアワダチソウの上にとまって、枝にひっかけようとしませんが、なかなかいい場所が見つかりません。1度はその場で食べようとしたのですが、もう一度茎に嘴を突っ込み、再び嘴を出した時には何もくわえていませんでした。モズが飛び去った後、その場所に行ってみると、見つかりました！



セイタカアワダチソウの茎に刺さったコカマキリの”はやにえ”

一見刺さる場所のなさそうな枝に、器用にコカマキリを差し込んでいました。滅多に見ることのできない瞬間を見ることができて、一同大興奮でした。

モズは、一度捕まえた獲物をすぐに食べずに、枝などに刺してとっておくことがあります。これを”はやにえ”といいます。はやにえの目的は貯食のため、縄張りを宣言するため、食べかけで放置されたもの、などいろいろな説がありますが、

まだ定説はありません。

身近なところでも、歩くたびにわくわくする新しい発見があります。12月のてがたんでもモズに食べられていなければこのはやにえを見ることができるかも知れません。ぜひご参加ください。

December 4日Wednesday: オナガガモの足環

カテゴリ: General

投稿者: odaya



11月12日に、親水広場の芝生に上がっているオナガガモの中に、足羽の付いている個体を見つけました。左足についている銀色に光る足環がみえるでしょうか？



いろいろな角度から写真を何枚か撮ると、足環に刻まれている番号をすべて読むことができました。この写真では「256」という番号が読めますね。

読んだ番号を山階鳥類研究所に連絡すると、この個体は2000年に埼玉県で放鳥された個体で、少なくとも13年は生きていたことがわかりました。

鳥類標識調査は、環境省の委託で山階鳥類研究所が中心となって行っている調査で、シリアルナンバーが刻まれた足環を鳥に装着することで、鳥の移動・寿命などを調べる調査です。

詳しくは、山階鳥類研究所のホームページをご覧ください。

http://www.yamashina.or.jp/hp/ashiwa/ashiwa_index.html

December 1日Sunday: 田んぼでお食事

カテゴリ: General

投稿者: odaya



田んぼに降りているオナガガモの群れ。



親水広場のほうから次々と飛んできました。

今朝、鳥の博物館前の水田に30羽ほどのオナガガモが降りていました。水田に落ちている籾（もみ）を食べているようです。先週末に、この田んぼでは二番穂（稲刈りの後に生えてくるイネに実る穂）の刈り取りが行われており、そこか

らこぼれた糲を食べているようでした。人に投げられるパンにばかり頼っているように見えるオナガガモも、自分たちで餌の場所を見つけているのですね。

でも、田んぼの落ち穂も人間の活動によってできた餌です。私たちは意図せずして、農業活動によって野生動物に餌付けをしているのです。

とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2013-11 >

日 月 火 水 木 金 土

1 2

3 4 5 6 7 8 9

10 11 12 13 14 15 16

17 18 19 20 21 22 23

24 25 26 27 28 29 30

過去ログ

あなたは現在、2013年Novemberの過去ログを見えています。

November 9日Saturday: てがたんにてコハクチョウ出現

カテゴリ: [General](#)

投稿者: [odaya](#)



本日、11月のてがたんを行いました。テーマは、木の実・草の実だったのですが、ウバメガシの実を観察中、上空を飛ぶ大きな鳥を発見しました。撮影してみると、コハクチョウであることがわかりました。前から3番目が今年生まれの幼鳥で、あとの3羽は成鳥でした。はるか上空を西へ飛んで行ったので、手賀沼に降りたかどうかはわかりませんでした。

この近辺では印西市や茨城県常総市に集団越冬地がありますが、手賀沼では移動中の個体がたまに見られるだけの種類です。渡りの季節、思わぬ鳥が身近にあらわれることがありますね。

November 7日Thursday: コチョウゲンボウとチョウゲンボウ

カテゴリ: [General](#)

投稿者: [odaya](#)

10月28日、よく晴れた日に水田の上を飛ぶ2羽の小さな猛禽類を見つけました。

検索

検索

ナビゲーション

[前の月](#)

[次の月](#)

[今日の投稿](#)

[過去ログ](#)

カテゴリ

[全てのカテゴリ](#)

[General](#)

[お知らせ](#)

[観察会](#)

[観察会下見](#)

[昆虫](#)

[植物](#)

ログイン

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

ログイン

リンク

[我孫子市鳥の博物館](#)

[google.co.jp](#)

チョウゲンボウとコチョウゲンボウです。コチョウゲンボウはより尾羽が短く、羽ばたきもより力強い感じがします。



コチョウゲンボウ(左)とチョウゲンボウ。体形の違いがよくわかります。



コチョウゲンボウは、近くで見るとこんなに可愛い猛禽です。

チョウゲンボウは1年中我孫子で姿をみることができますが、コチョウゲンボウは冬の間にはしか見られません。これからの季節。運が良ければ水田地帯で小鳥をとらえる姿が観察できるでしょう。

とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2013-10 >

日 月 火 水 木 金 土

1 2 3 4 5

6 7 8 9 10 11 12

13 14 15 16 17 18 19

20 21 22 23 24 25 26

27 28 29 30 31

過去ログ

あなたは現在、2013年Octoberの過去ログをしています。

October10日Thursday: フクロウの巣箱新築！

カテゴリ: [General](#) 投稿者: [odaya](#)

今年のふくろうカメラは機器の故障により公開できませんでしたが、本日、機材の修理が終わって、新しい巣箱が木に設置されました。この場所のフクロウのペアがまたこの巣箱を選んでくれれば、来年春にはまたフクロウの繁殖の様子をお届けできるかもしれません。



検索

検索

ナビゲーション

[前の月](#)

[次の月](#)

[今日の投稿](#)

[過去ログ](#)

カテゴリ

[全てのカテゴリ](#)

[General](#)

[お知らせ](#)

[観察会](#)

[観察会下見](#)

[昆虫](#)

[植物](#)

ログイン

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

ログイン

リンク

[我孫子市鳥の博物館](#)

google.co.jp



Copyright | Nucleus CMS v3.64 | Valid XHTML 1.0 Strict | Valid CSS | [トップページに戻る](#) | Since 15,Mar.2008

とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2013-09 >

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

過去ログ

あなたは現在、2013年Septemberの過去ログをしています。

September28日Saturday: 9月の手賀沼の水鳥

カテゴリ: [General](#) 投稿者: [odaya](#)

ここ数日はすっかり冷え込んで、鳥たちの秋の渡りも進んでいるようです。27日には博物館の裏山でキビタキの地鳴きが聞かれたり、水の館からメボソムシクイ(の仲間)が持ち込まれたりしました。

今日は、9月の手賀沼調査で見られた水鳥を紹介します。撮影日はすべて9月19日です。



親水広場前で、オオバンが抽水植物の根の部分を食べていました。水に潜って根の部分を持ち上げてきて、水面でつついていました。オオバンは雑食性で、植物質のものもよく食べます。

検索

検索

ナビゲーション

[前の月](#)
[次の月](#)
[今日の投稿](#)
[過去ログ](#)

カテゴリ

[全てのカテゴリ](#)
[General](#)
[お知らせ](#)
[観察会](#)
[観察会下見](#)
[昆虫](#)
[植物](#)

ログイン

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

ログイン

リンク

[我孫子市鳥の博物館](#)
google.co.jp



手賀沼沿いの水田では稲の刈り取りが進み、雨の後には広い湿地ができています。そうした水田はサギの仲間にとって格好の餌場です。子の日もダイサギ(手前)とチュウサギが群れてカエルなどを採食していました。



ちょっとわかりづらい写真ですが、コガモが人工島の杭で休んでいました。冬に日本にやってくるカモの仲間では最も渡来が早く、9月中から数多く渡ってきます。



手賀沼の水位が少し下がったためか、出現した干潟にコチドリが降りて採食していました。こういう場所をどうやって見つけ出しているのか、とても不思議ですね。

September19日Thursday: モズ我孫子にもぞくぞく渡来

カテゴリ: General 投稿者: odaya

台風が通り過ぎ、一気に秋の空気となってきました。「キィーキィーキィーキィー、ギチギチギチ」遠くからモズの声があちこちで聞こえてきます。この声は「高鳴き」といって、冬を過ごす縄張りを主張する声です。今日は手賀沼水面調査で手賀沼を回ってきましたが、合計5か所で高鳴きを確認しました。



モズの♂は、目の周りが黒っぽく、マスクをしているようです。近くに来た他の個体を追い払ってヤナギに止まりました。この時期は、個体同士での争いがよく目につきます。良いなわばりを得ることができれば、餌の少ない冬をうまく乗り切れるからでしょう。



こちらは♀で、♂よりもかわいらしい顔つきです。冬には♂♀別になわばりを張るため、♀もこのように高いところにとまって盛んに高鳴きを行います。

少し耳を澄まして、秋の訪れを告げるモズの声に耳をすましてみましょう。

September13日Friday: チュウジシギ

カテゴリ: **General** 投稿者: **odaya**

我孫子周辺の水田では、稲刈りが進んで、すっかり秋の景色になりました。こんな田んぼに人知れずやってきている鳥がいます。



さて、どこにいるか見つけられるでしょうか。草のなかをよく探してみましょう。



こちらはもう少し簡単ですね。



全身が見えるとこんな感じです。嘴が長く、全身茶色っぽくて複雑な模様をしています。

この鳥は、チュウジシギという種類のシギの仲間で、ロシアの沿海州などで繁殖し、東南アジアやオーストラリア北部で越冬します。関東地方では主に秋の渡りの時期に水田で見られます。たくさん餌を食べて脂肪を蓄積し、長距離の渡りにそなえているのです。

一見なにもいないように見える田んぼも、じつは渡り鳥の大事な生活の場になっています。

とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2013-08 >

日 月 火 水 木 金 土

1 2 3

4 5 6 7 8 9 10

11 12 13 14 15 16 17

18 19 20 21 22 23 24

25 26 27 28 29 30 31

過去ログ

あなたは現在、2013年Augustの過去ログをしています。

August28日Wednesday: サシバ鳥博上空を舞う

カテゴリ: [General](#)投稿者: [odaya](#)

本日8:35ころ、窓の外を飛んでいるサシバにスタッフが気づきました。学芸員で外に出て観察すると、2羽が上空を旋回し、北西方向へ飛去しました(画像中央の点・左上に拡大)。サシバは長距離の渡りをするタカですが、本格的な移動の前に小規模の移動を行うことが知られており、今朝見られた個体もそのような移動の途中ではないかと思われます。

ここ数日涼しくなってきましたので、サシバも移動したい気分になってきたのかもしれないですね。

August20日Tuesday: 8月の手賀沼の水鳥

カテゴリ: [General](#)投稿者: [odaya](#)

暑い日が続いています。8月16日の手賀沼水面調査で見られた鳥たちをご紹介します。

検索

ナビゲーション

[前の月](#)[次の月](#)[今日の投稿](#)[過去ログ](#)

カテゴリ

[全てのカテゴリ](#)[General](#)[お知らせ](#)[観察会](#)[観察会下見](#)[昆虫](#)[植物](#)

ログイン

ログインID:

パスワード:

 このPCを他の人と共用する

リンク

[我孫子市鳥の博物館](#)[google.co.jp](#)



ミニ手賀沼で藻類を採食するカルガモ。
親水広場前には繁殖を終えたカルガモたちがあつまっています。ここでは餌付けも行われているようですが、このように自分たちでも自然の餌をとっています。



フィッシングセンター近くのいけすで採食するコサギ。
他にもチュウサギやダイサギなど、7月よりも多くのサギの仲間が確認できました。



1羽だけで行動していたオオバンの幼鳥。
成鳥と違って喉のあたりが白っぽく、目の色も褐色味がかっています(成鳥では鮮やかな赤)。



岸に上がって草を食べていたコブハクチョウの幼鳥。
こちらはまだ親と一緒に行動していました。体の大きさは親と同じくらいになり、顔つきもコブハクチョウらしくなってきました。

August13日Tuesday: シギチドリの渡り その2

カテゴリ: [General](#) 投稿者: [odaya](#)

手賀沼周辺で見られたシギチドリ類の第2弾です。撮影日はいずれも2013年7月25日です。



畔でじっと休んでいた(推定)オオジシギの成鳥です。初夏の高原では爆音でさええずることでも有名ですが、渡りの時期には静かに身をひそめています。オーストラリア南部への渡りの途中に、利根川の下流域でも姿を見ることができます。



クサシギは水田に群れで降りていました。秋の渡りでは一番に渡ってくる種類の一つです。



タマシギは、手賀沼周辺でも繁殖しているシギの仲間です。草の伸びた休耕田で出会いましたが、こちらを見つけるとダッシュで草の中に入ってこの姿勢になりました。こうなると、背中のもようが迷彩色になって見つけるのは難しくなります。

August11日Sunday: シギチドリの渡り

カテゴリ: **General** 投稿者: **odaya**

暦の上では立秋をすぎましたが、まだまだ暑い日が続いています。鳥の世界では、シギチドリの仲間がシベリアなどでの繁殖を終え、渡りが始まっています。我孫子市内でもいくつかの種を7月25日に観察したので紹介します。



アカエリヒレアシギ成鳥。普通はあまり内陸には入りませんが、休耕田に立ち寄ってくれました。



ヒバリシギ成鳥。草丈のやや高めな浅い水辺を好む種類です。アカエリヒレアシギを観察していると、後ろからひょっこり出てきました。

これからも9月にかけてさまざまなシギやチドリが通過していきます。農耕地での観察の際は、通行する農家の車や、先に見ている観察者に注意を払いましょう。

とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2013-07 >

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

過去ログ

あなたは現在、2013年Julyの過去ログをえています。

July14日Sunday: 時計草に花が咲く！

カテゴリ: [General](#) 投稿者: [saito](#)



博物館の壁面緑化のために植えたパッションフルーツ（果物時計草）に花が咲きました。期待通り実を結びますように。

July 7日Sunday: フクロウ2羽巣立つ

カテゴリ: [General](#) 投稿者: [saito](#)

検索

検索

ナビゲーション

[前の月](#)
[次の月](#)
[今日の投稿](#)
[過去ログ](#)

カテゴリ

[全てのカテゴリ](#)
[General](#)
[お知らせ](#)
[観察会](#)
[観察会下見](#)
[昆虫](#)
[植物](#)

ログイン

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

ログイン

リンク

[我孫子市鳥の博物館](#)
google.co.jp



2013.6.28

6月15日に本ブログで紹介したフクロウ、今年は2羽のヒナが産まれました。
2羽目のヒナも、無事巣立ちました。

Copyright | Nucleus CMS v3.64 | Valid XHTML 1.0 Strict | Valid CSS | [トップページに戻る](#) | Since 15,Mar.2008

とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2013-06 >

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
						30

過去ログ

あなたは現在、2013年Juneの過去ログをしています。

June20日Thursday: 手賀沼のコブハクチョウ子育てラッシュ

カテゴリ: [General](#) 投稿者: [odaya](#)

19日に手賀沼水面鳥類センサスを行いました。オオバン、カイツブリなども幼鳥が確認されましたが、遊歩道ではコブハクチョウの親子連れが多く目につきました。ヒナの数や成長具合は家族ごとにかなり違っているようで、なぜなのか興味深いです。



親水広場の芝生に上がっていた家族。右が♂で左が♀です。小さな3羽のヒナを連れていました。

検索

ナビゲーション

- [前の月](#)
- [次の月](#)
- [今日の投稿](#)
- [過去ログ](#)

カテゴリ

- [全てのカテゴリ](#)
- [General](#)
- [お知らせ](#)
- [観察会](#)
- [観察会下見](#)
- [昆虫](#)
- [植物](#)

ログイン

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

リンク

[我孫子市鳥の博物館](#)

google.co.jp



上沼の手賀沼公園で確認された家族。アヒルより大きくなった7羽のヒナを連れていました。



高野山新田の遊歩道上で寝ていた家族。アヒルくらいの5羽のヒナを連れていました。人が近くを通過しても全く動く気配がありません。



この時期の親は近くを通るヒトに対してもかなり警戒心が高まります。写真の♂も、こちらが自転車を降りただけで鎌首をもたげて威嚇しながら接近してきました。とぼけた顔に似合わずかなり力が強いので、攻撃されてけがをしないように注意しましょう。

June15日Saturday: フクロウのヒナ巣立ち間近！

カテゴリ: [General](#) 投稿者: [odaya](#)

今年はカメラの故障のためフクロウの繁殖状況がわかっていませんでしたが、昨日夕方巣の入り口に立っているのが見られたとのことで、今日山階鳥類研究所にご協力をいただき様子を見てきました。大きくなったヒナが巣の入り口に立っているのが見られました。あと数日で巣立つものと思われます。



ヒナの巣立ちが確認されてしばらくたってから、カメラの点検などを行う予定です。

June12日Wednesday: ドバトの家さがし

カテゴリ: [General](#) 投稿者: [odaya](#)

6月5日の朝のこと、鳥の博物館玄関前の柱と天井部分の隙間に、ドバトが3羽

入って来て、求愛ディスプレイを行っていました。ここで営巣を始めるのかと思いきや、翌日からは姿が見られなくなっていました。狭すぎるのがお気に召さなかったのでしょうか。

これまで博物館の建物で繁殖をしたことはないようで、ドバトの新しい繁殖場所への挑戦はひとまず失敗したようです。



June 5日Wednesday: 鳥たちの繁殖シーズンまさかり

カテゴリ: General 投稿者: odaya

梅雨入りしたのに晴天が続いています。気温が上がってきて、鳥たちの子育ても進んでいるようです。5/30のオオヨシキリ調査では、ホオジロ、セグロセキレイ、シジュウカラ、オオバン、カルガモ、コブハクチョウなどの親子が観察されました。

今回は6/5の調査時に見られた鳥たちの様子をご紹介します。



休耕田に降りていたコチドリ。時々高い声で鳴きながら飛びまわっていたので、近くに巣がありそうです。耳羽が茶色いので♀とされます。



アシのてっぺんでさえずるオオヨシキリ。川や沼のそばのアシ原になわばりを構える個体が多いですが、この♂は休耕田でさえずっていました。

6月15日に、アシ原や河川敷で繁殖している鳥たちの観察会を行います。オオヨシキリやヒバリのほか、コヨシキリも観察できそうですので、ぜひぜひご参加ください。詳細はこちらからどうぞ。

<http://www.bird-mus.abiko.chiba.jp/event/event.html>

とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2013-05 >

日 月 火 水 木 金 土

1 2 3 4

5 6 7 8 9 10 11

12 13 14 15 16 17 18

19 20 21 22 23 24 25

26 27 28 29 30 31

過去ログ

あなたは現在、2013年Mayの過去ログをしています。

May20日Monday: 子育ての季節、毛虫は大切なタンパク源！

カテゴリ: [General](#)

投稿者: [saito](#)



ここ数日、博物館事務室の外のトキワサンザシにムクドリが頻繁に出入りしています。嘴には毛虫が!!

検索

検索

ナビゲーション

[前の月](#)

[次の月](#)

[今日の投稿](#)

[過去ログ](#)

カテゴリ

[全てのカテゴリ](#)

[General](#)

[お知らせ](#)

[観察会](#)

[観察会下見](#)

[昆虫](#)

[植物](#)

ログイン

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

ログイン

リンク

[我孫子市鳥の博物館](#)

[google.co.jp](#)

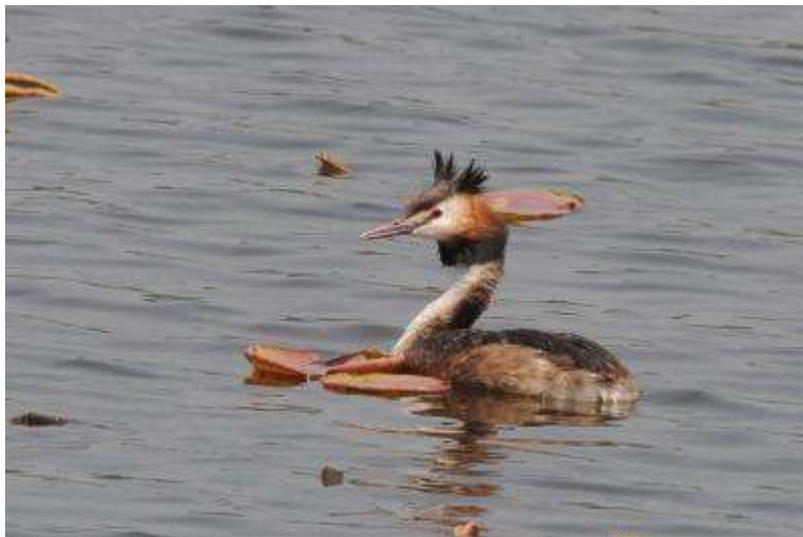


このピラカンサには、マイマイガの幼虫（毛虫）がたくさん付いていました。子育て中のムクドリにとって、大切なタンパク源になっているのでしょう。

May15日Wednesday: 最近の手賀沼の水鳥

カテゴリ: General 投稿者: odaya

昨日5月14日の手賀沼水面水鳥調査で確認された鳥を紹介します。



カンムリカイツブリが1羽残っていました。近い将来手賀沼で繁殖する可能性もあると期待しています。



オオバンの繁殖行動があちこちで見られ、巣で抱卵している個体も撮影できました。アシの中に抽水植物の茎などを積み重ねて巣をつくります。

上沼ではコアジサシが4羽確認され、今年の初認となりました。

May11日Saturday: 夏鳥の渡りが進んでいます

カテゴリ: General

投稿者: odaya



5月4日に、市民の方から保護された♂のキビタキが持ち込まれました。見た目は元気なのですが、しばらくたって放鳥しようとしてもなかなか飛び立てません。鳥獣保護員の方に預かって様子を見てもらっていたところ、ミルワームをもらって元気になり、5/8に無事飛んで行ったそうです。

尾羽や風切羽に茶色い幼羽が残っているので、昨年生まれと考えられます。この個体は、繁殖地への初めての渡りでエネルギーを使い果たしてしまったのでしょうか。

このキビタキを放鳥しようと博物館の裏山へ行ってみたところ、別のキビタキの元気な声が山のほうから聞こえてきました。ちょうど今の時期に通過していくの

ですね。

昨日、5月10日には、エゾムシクイの「ヒーツーキー」というさえずりも聞かれました。この鳥も繁殖地への渡りの途中で我孫子に立ち寄っているようです。山階鳥類研究所の広報ブログでは、この個体のさえずりの録音を聞くことができます。

http://yamashina.blog.ocn.ne.jp/blog/2013/05/post_2e14.html

May 3日Friday: ゴールデンウィークは田植えまっさかり！

カテゴリ: **General** 投稿者: **saito**

ゴールデンウィーク、農家の方は田植えで大忙しです。この時期の引水した田んぼは、長距離の渡りをするシギやチドリの仲間にとって、中継地としてエネルギーを補給し羽を休めることのできる広大な湿地に見えているはずです。



(2013.5.1)

手賀沼川周辺の水を張っていない田んぼで、200羽近いムナグロとキョウジョシギの群れが餌を食べていました。



(2013.5.1)

日没後、チュウシャクシギの群れが、畦のまわりに集まり休息し始めました。
埒（ねぐら）でしょうか。

Copyright | Nucleus CMS v3.64 | Valid XHTML 1.0 Strict | Valid CSS | [トップページに戻る](#) | Since 15,Mar.2008

とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2013-04 >

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

過去ログ

あなたは現在、2013年Aprilの過去ログをしています。

April29日Monday: ウミウも滞在中

カテゴリ: [General](#) 投稿者: [odaya](#)

25日のオオバン調査で見つかった鳥たちを紹介します。



4月17日に見つかったウミウは18, 25, 26日にも確認されています。カップの噴水まわりがお気に入りのようで、カワウと一緒に休んでいるのが目撃されています。一応飛べるようですが、左翼のテグスは付いたままです。

検索

検索

ナビゲーション

[前の月](#)
[次の月](#)
[今日の投稿](#)
[過去ログ](#)

カテゴリ

[全てのカテゴリ](#)
[General](#)
[お知らせ](#)
[観察会](#)
[観察会下見](#)
[昆虫](#)
[植物](#)

ログイン

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

ログイン

リンク

[我孫子市鳥の博物館](#)
[google.co.jp](#)



下沼の岸沿いの杭で、4羽のチュウシャクシギが羽を休めていました。春の渡りではオーストラリアなどからシベリアまで長い距離を渡るので、彼らにとって日本は大事な中継地です。



青葉の茂った桜並木にいたシメの♀。冬には肌色だったくちばしの色は鉛色に変わってきました。もうすぐ北の繁殖地に旅立つのでしょうか。

April26日Friday: 手賀沼のオオバンを数えたら、今年は97羽！

カテゴリ: **General**

投稿者: **saito**



4月下旬、手賀沼で越冬していたオオバンが北へ帰り、子育てするオオバンが残ります。ヨシ原の植物がまだ茂っておらず見通しのきくこの時期、沼縁を歩き、手賀沼で繁殖するオオバンの数を毎年数えています。今年は、4月25日に市民スタッフさんと一緒に調査しました。



その結果は手賀沼全域で97羽。昨年は100羽、一昨年は90羽で、ここ数年大きな変化はないようです。



繁殖期に入ったオスの額板（がくばん＝おでこの板状の部位）は発達し、大きく盛り上がります。



手賀沼周辺では、オスのキジがなわばりを主張して母衣打ちするシーンやなわばりに入ってきたメスに対して尾羽を広げて求愛する姿が見られました。



コブハクチョウが抱卵している巣を沼全域の7カ所で確認。



特定外来種指定のウシガエルの多さにびっくり。ニホンアマガエル、トウキョウダルマガエル、シュレーゲルアオガエルの声も確認しました。

★手賀沼オオバン個体数調査（2013.4.25）で見られた鳥は次のとおり
キジ、カルガモ、コガモ、カイツブリ、キジバト、カウウ、ウミウ、アオサギ、
チュウサギ、コサギ、クイナ（声）、ヒクイナ（声）、オオバン、コチドリ、
チュウシャクシギ、ユリカモメ、カワセミ、コゲラ、モズ、ハシボソガラス、ハ
シブトガラス、シジュウカラ、ヒバリ（さえずり）、ツバメ、ヒヨドリ、ウグイ
ス（さえずり）、エナガ（造巢）、オオヨシキリ（さえずり）、セッカ、ムクド
リ、アカハラ、ツグミ、スズメ、カワラヒワ、シメ、ホオジロ（さえずり）、ア
オジ、コジュリン、オオジュリン、以上39種でした。

April23日Tuesday: セイタカシギ滞在中

カテゴリ: General 投稿者: odaya



4月19日から見られている3羽のセイタカシギが、高野山新田の水田で採食していました。

すらりと長い脚が美しいです。

20日、22日にも見られており、この場所がお気に入りのようです。3羽は微妙に羽の色が違って、個体の識別ができそうです。



♂の成鳥。背中が真っ黒です。



♀の成鳥と推定される個体。背中雄より茶色っぽく見えます。



若い個体(昨年生まれ)と推定される個体。翼が全体的に茶色味を帯びています。

April19日Friday: 最近の鳥情報

カテゴリ: General 投稿者: odaya

最近の博物館周辺の野鳥情報をまとめて掲載します。



4/17 コガモ 沼全体で36羽がカウントされました。この時期はほとんどペアで行動しています。

4/17 オオヨシキリ アシの中でぐぜり(今季初認)

4/17, 4/18 ヒクイナ アシの中でさえずり

4/18 ヒヨドリ 100羽+の群れが手賀沼を超えて北方向に渡っていった

4/19 セイタカシギ3 水田で採食

4/19 アリスイ (Oさん情報提供)

鳥の博物館の企画展「身近な鳥 - 我孫子の鳥を調べて見たら -」では、我孫子周辺のおよそ20年間の鳥類調査の記録を展示しています。

<http://www.bird-mus.abiko.chiba.jp/Exhibitions/kikakuten/65/65.html>

手賀沼で探鳥の際にはぜひ博物館にもお立ち寄りください。

April19日Friday: 交雑個体カモ?

カテゴリ: **General** 投稿者: **odaya**

17日の鳥類センサス中に、種間交雑個体(雑種)と思われるカモを何個体か観察しました。



カルガモとマガモ(またはアヒル)と推定される雑種♂。
嘴・胸・頭などにマガモとカルガモの中間的な特徴が出ています。このようなカルガモとマガモ(またはアヒル)の雑種はしばしば見つかり"マルガモ"と呼ばれたりします。



カルガモとマガモ(またはアヒル)の交雑個体と推定される♀(右)と、不明カモ(左)。

右の個体は、一見マガモの♀に見えますが、嘴の先端が薄く、目の上に薄い眉があることから、カルガモとの雑種だと推定されます。左の個体は一見マガモの♂に見えますが、脇に茶色い羽が多くあり、尾羽のカールした羽の曲りも弱くみえます。マガモの雄の若い個体、カルガモとの交雑個体などが疑われますが、結論を出すことはできませんでした。ちなみにこの2羽はつがい関係のようで、水を張った水田でカルガモの群れの中で一緒に行動していました。

また継続して観察する機会があれば、詳しく見てみたい個体です。もしこの個体と似たカモを観察しましたら博物館まで情報提供いただければ幸いです。

April17日Wednesday: 手賀沼鳥類センサスでウミウ出現

カテゴリ: General

投稿者: odaya





本日行った手賀沼水面区域の鳥類センサスで、ウミウが記録されました(写真上：右がウミウ)。

カワウとくらべて体が大きく、嘴の付け根の黄色い部分の角(口角)がとがった形をしているのが特徴です。この個体は若い鳥で、移動の途中に手賀沼に立ち寄ったのかもしれませんが。左翼からは釣り糸のようなものが伸びていましたが、飛べるのかどうかは判断できませんでした。

ウミウは、今まで記録がなく手賀沼で初記録の可能性もあります。もしこれまでに観察された記録をお持ちの方がいらっしゃいましたら、鳥の博物館までぜひご連絡いただければと思います。

他にも興味深い鳥たちが観察されたので、後日また報告します。

(記事を一部修正 2013/4/18)

April16日Tuesday: コイカル鳴く！

カテゴリ: **General** 投稿者: **odaya**

本日、16：30頃、コイカルのさえずりが親水広場方面から聞こえてきました。あわてて探しに行きましたが、姿を見ることはできませんでした。最近確認されていなかったようですが、いつの間にか戻ってきたようです。アオジも金属的な声でぐぜっていました。

取手市では今朝センダイムシクイの声も聞かれたようで、季節が進んでいくのを感じますね。

April13日Saturday: 4月のがたん報告

カテゴリ: **General** 投稿者: **odaya**



本日、2013年4月のでがたんを行いました。暖かい日差しの下、この時期開花を迎えているヤエザクラの品種について、市民ボランティアの方に解説していただきました。鳥のほうは、美しいキジの♂や雌雄で並んで採食するムクドリなど31種の鳥を観察することができました。沼には頭の黒くなりかけたユリカモメや、繁殖を始めたコブハクチョウなど、この時期ならではの水鳥の様子も見られました。来月は、「鳥のさえずりと子育て」をテーマに、5月11日(土)に実施予定です。みなさまのご参加をお待ちしております。

April13日Saturday: 巣傾くも、抱卵続ける

カテゴリ: [General](#) 投稿者: [saito](#)



4月3日に同日記で紹介したハシボソガラスの巣、4月7日の強風にあおられ、ずいぶん傾きましたが、まだなんとか持ちこたえています。

April10日Wednesday: 鳥の博物館前、手賀沼遊歩道の桜情報！！

カテゴリ: [General](#)

投稿者: [saito](#)



(2013.4.9)

八重の桜が咲き出しました。‘普賢像’、‘江戸’、‘松月’などなど、約10種類の品種がこれから花盛りです。



鳥の博物館3階展望テラス奥の鉢の中にコオニタビラコの花が咲きました。春の七草でホトケノザとして知られる田んぼの草ですが、最近あまり見つからなくなりました。



水を張り始めた田んぼから、今夕は、ニホンアマガエルの大合唱が聞こえました。

April 7日Sunday: 鳥も虫もカエルも鳴き出しました！

カテゴリ: General

投稿者: saito



(2013.4.5)

草木が芽吹きすがすがしい、二十四節気の清明（せいめい）の日です。アオジが樹上でしぎりにさえずっていました。



(2013.4.5)

夜、ジーという耳鳴りのようなクビキリギスの声を聞きました。博物館付近のガソリンスタンドの灯りの下に、その姿も発見！、成虫越冬するこの虫は、暖かくなると一番先に鳴き出す虫の一つです。昼間、手賀沼遊歩道ではリーリーリーとか細い声で鳴くキンヒバリの声と、グフフグフフと鳴くトウキョウダルマガエルの声を聞きました。

April 7日Sunday: 手賀沼遊歩道桜情報！ーミクルマガエシが開花一

カテゴリ: General

投稿者: saito



(2013.4.4)

鳥の博物館前の手賀沼遊歩道には10種類以上の桜の品種が植栽されています。その中でも、赤味の美しい‘御車返し（ミクルマガエシ）’が咲きました。オオシマザクラの血を引く大きな花弁で、一重にも見えますが実は八重!!



(2013.4.4)

八重桜の‘関山（カンザン）’も開花間近です。



(2013.4.4)

‘ソメイヨシノ’は満開！

April 3日Wednesday: ハシボソガラス抱卵中！

カテゴリ: **General**

投稿者: **saito**



国道6号の脇のニセアカシアで毎年ハシボソガラスが営巣しています。今年も巣とその近くにハシボソガラスのつがいがみられました (2013.3.20)。



ハシボソガラスはオープンな場所に巣を造るため、葉がのびていない今の時期、とても目立ちます（2013.4.1）。



今日も抱卵中！（2013.4.1）

とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2013-03 >

日	月	火	水	木	金	土
						1 2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

過去ログ

あなたは現在、2013年Marchの過去ログをしています。

March29日Friday: みんな桜が大好き！

カテゴリ: General 投稿者: saito



‘ソメイヨシノ’満開！スズメは花の根元の萼筒（がくとう）の部分をかきとって、くちゅくちゅ蜜をなめます。樹の下は、食い散らかした花だらけ！

(2013.3.28 撮影：小笠原征紀さん)

検索

検索

ナビゲーション

前の月

次の月

今日の投稿

過去ログ

カテゴリ

全てのカテゴリ

General

お知らせ

観察会

観察会下見

昆虫

植物

ログイン

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

ログイン

リンク

我孫子市鳥の博物館

google.co.jp



今冬多かったウソ、桜の花芽を食べることで有名ですが、今年は桜の開花が早く、桜の花にウソといった組み合わせが見られます。花の根元をちぎって、子房の部分を食べているようです。

(2013.3.22 撮影：武藤藍子さん あけぼの山公園にて)

March27日Wednesday: ひきつづき、手賀沼遊歩道の桜情報！

カテゴリ: **General**

投稿者: **saito**



雨の中‘ソメイヨシノ’満開！



桜餅を包む葉で有名なオオシマザクラ、開花しました。
(2013.3.27)

March25日Monday: 手賀沼遊歩道の桜とスズメとアカゲラ

カテゴリ: **General**

投稿者: **saito**



手賀沼遊歩道の‘ソメイヨシノ’は、沼縁のため、少し遅れて五分咲き程度。早速スズメがやってきて花をちぎって、蜜を失敬！最近ではよく知られる光景になりました。



手賀沼遊歩道は、今日も多くのカメラマンが訪れました。レンズの先のフォトジェニックな鳥は何？答えはアカゲラ！今シーズンよく見かけました。

March20日Wednesday: 鳥博まわりの桜だより

カテゴリ: [General](#)

投稿者: [saito](#)



(エドヒガン)



(‘イトザクラ’)

手賀沼下沼北岸の滝下広場では、エドヒガンと‘イトザクラ’（エドヒガンから作出された品種）が見ごろです（2013.3.20）



鳥の博物館前の遊歩道の‘ソメイヨシノ’も開花です！（2013.3.20）

March20日Wednesday: 手賀沼遊歩道鳥情報

カテゴリ: General

投稿者: saito



迫力ある嘴でイラガの繭を割るコイカル (2013.3.19、撮影：小笠原征紀氏)



渡りを前に、繁殖モードに入ったのかさえずり出したアオジ (2013.3.19、撮影：小笠原征紀氏)

March14日Thursday: スズメの産卵はじまる！

カテゴリ: General 投稿者: saito



鳥の博物館の3階展望テラスに架設したスズメ用の巣箱の下に卵が落ちていました（3月12日）。何があったのか？分かりませんが、スズメの産卵がはじまったのは確かです。

March14日Thursday: 遊歩道の河津桜開花！

カテゴリ: General 投稿者: saito



鳥の博物館前の手賀沼遊歩道に植栽されたばかりの小さな”河津桜（カワヅザクラ）”が一本あります。ひっそり開花しました。（2013.3.14）

March14日Thursday: 手賀沼にツバメ渡来!!

カテゴリ: General 投稿者: saito

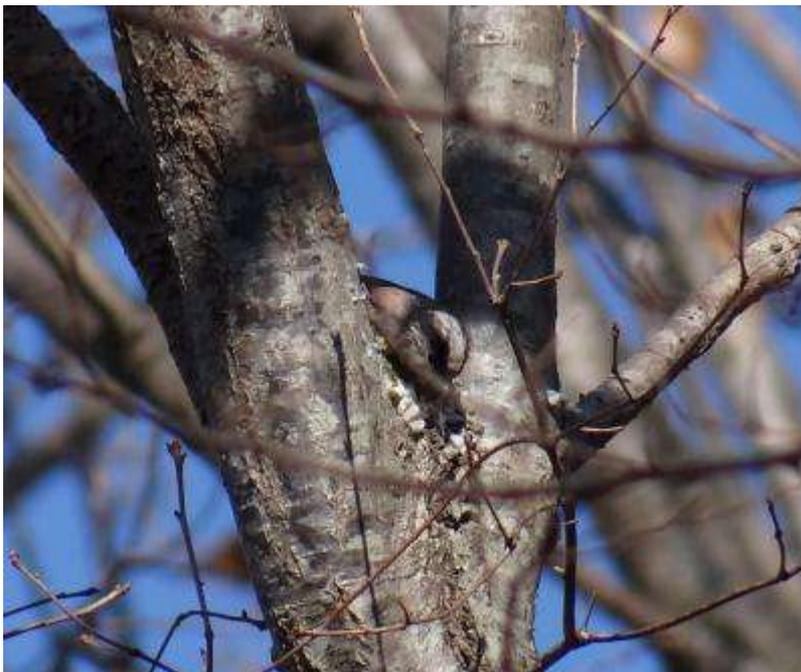


ひどい写真で失礼！ツバメです。尾羽がスッと長く見えます。オスでしょうか？3月14日9時頃、手賀大橋の上を超えて飛んでゆきました。手賀沼の水面や杭の上にも数羽見られました。

March14日Thursday: エナガの巣作り

カテゴリ: General

投稿者: shioda



3月6日近隣公園の調査で、エナガが雌雄共同で樹の又に巣作りしている姿を観察しました。この時期はまだ樹木の葉が落ちているので見つけられましたが、葉が茂りだすと巣を見つけるのは難しくなります。

March13日Wednesday: 鳥博まわり桜だよりとアリスイ情報！

カテゴリ: General

投稿者: saito



鳥の博物館裏門前の"オカメザクラ"満開！



利根川向こうの取手市役所の"カワヅザクラ"が三分咲き！手賀沼ほとりの道の駅沼南の"カワヅザクラ"もそろそろか？気になるところ。



鳥の博物館前の手賀沼遊歩道のアリスイはまだ健在！（2013.3.12小笠原征紀氏撮影）

March10日Sunday: 鳥博周辺、今日の桜情報

カテゴリ: General

投稿者: saito



鳥の博物館に近い高野山小学校の‘カンザクラ（寒桜）’が五分咲きです。
(2013.3.10)



鳥の博物館職員通用門わきに植栽した'オカメザクラ（阿亀桜）'も開花！

March 9日Saturday: てがたん（手賀沼定例探鳥会）で見つけた春！

カテゴリ: General 投稿者: saito

てがたん（手賀沼定例探鳥会）の今日のテーマは、春をさがそう！

気温が25度近くまで上がり、探すまでも無く「春」。

手賀沼遊歩道では、まだアリスイが見られました。ヒクイナは飛去したようです。キタテハ、キチョウが飛び、シジュウカラがさえずり、モズが杭上で餌をねらい、タシギ、コガモが田んぼで採餌してました。



てがたん風景



コブシの花が咲きました



気温は20度以上にあがり、ミツバチも活動的です



固まって越冬していたヨコヅナサシガメも動き出しました



陽だまりの畦には、オオイヌノフグリやホトケノザの花が一杯！

March 7日Thursday: 鳥の博物館周り、最近の鳥だより

カテゴリ: [General](#) 投稿者: [saito](#)

鳥の博物館前の手賀沼遊歩道では、この冬望遠レンズ付きカメラを持ったカメラマンに多数お会いしました。コイカル、ヒクイナ、そしてアリスイなど、あまり目にする機会の少ない鳥が見られたからです。今春、いつまで見られるか、楽しみです。



芝生で餌を採るアリスイ (2013.3.1,撮影:小笠原征紀氏)



声はすれどもなかなか姿を見せないクイナ (2013.3.5,撮影:小笠原征紀氏)

とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2013-02 >

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28		

過去ログ

あなたは現在、2013年Februaryの過去ログをしています。

February28日Thursday: とりはく自然通信は引き続き運用されま
す。

カテゴリ: General 投稿者: tokita

休止予定でしたブログ「とりはく自然通信」は開設できる事になりました。
今後ともよろしく申し上げます。

検索

検索

ナビゲーション

前の月

次の月

今日の投稿

過去ログ

カテゴリ

全てのカテゴリ

General

お知らせ

観察会

観察会下見

昆虫

植物

ログイン

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

ログイン

リンク

我孫子市鳥の博物館

google.co.jp



Copyright | Nucleus CMS v3.64 | Valid XHTML 1.0 Strict | Valid CSS | [トップページに戻る](#) | Since 15,Mar.2008

とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2012-11 >

日 月 火 水 木 金 土

1 2 3

4 5 6 7 8 9 10

11 12 13 14 15 16 17

18 19 20 21 22 23 24

25 26 27 28 29 30

過去ログ

あなたは現在、2012年Novemberの過去ログをしています。

November10日Saturday: 手賀沼定例探鳥会&博物館周辺の生きもの

カテゴリ: [General](#)

投稿者: [saito](#)



毎月恒例の観察会=てがたん（手賀沼定例探鳥会）で、ミサゴが手賀沼上空を飞翔する姿（右上円内）を観察！

検索

検索

ナビゲーション

[前の月](#)

[次の月](#)

[今日の投稿](#)

[過去ログ](#)

カテゴリ

[全てのカテゴリ](#)

[General](#)

[お知らせ](#)

[観察会](#)

[観察会下見](#)

[昆虫](#)

[植物](#)

ログイン

ログインID:

パスワード:

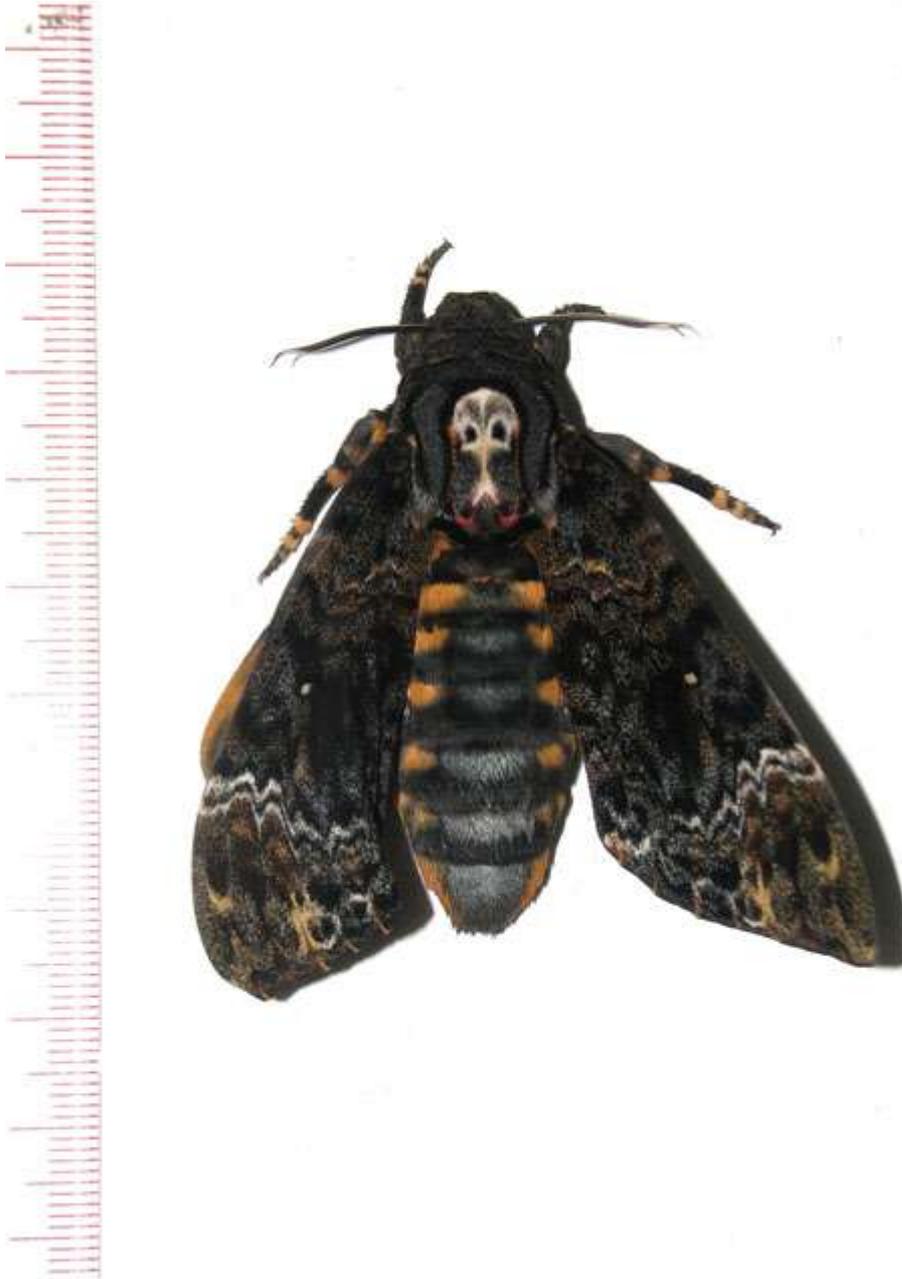
このPCを他の人と共用する

ログイン

リンク

[我孫子市鳥の博物館](#)

google.co.jp



クロメンガタスズメ（スズメガ科）登場。博物館近くの高野山の方が持参。昆虫に詳しい自然観察スタッフが同定。九州から東南アジアにかけて分布する蛾の仲間ですが、近頃本州でも記録が増えているとか。どうしても地球温暖化との因果関係が気になります。

とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2012-10 >

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

過去ログ

あなたは現在、2012年Octoberの過去ログをしています。

October28日Sunday: 鳥博まわり、季節の生き物！

カテゴリ: [General](#) 投稿者: [saito](#)



てがたん（手賀沼定例探鳥会）下見で、市民スタッフのKさんが、アカメヤナギの中に、ツツドリを発見！餌の毛虫が見つからないのか、すぐ飛んで行ってしまいました。

検索

検索

ナビゲーション

[前の月](#)
[次の月](#)
[今日の投稿](#)
[過去ログ](#)

カテゴリ

[全てのカテゴリ](#)
[General](#)
[お知らせ](#)
[観察会](#)
[観察会下見](#)
[昆虫](#)
[植物](#)

ログイン

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

ログイン

リンク

[我孫子市鳥の博物館](#)
[google.co.jp](#)



秋の花見！？二期咲きの里桜の‘十月桜’が満開でした。



季節の鳥ではないけれど、白アヒルの雌雄分かりますか？原種マガモを思い浮かべながら、尾羽を観察！左がオス。



関東ではカワウは冬に繁殖します。白い頭の繁殖羽のカワウが求愛行動をとっていました。



人が集まる場所に、オナガガモ集まる。

とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2012-06 >

日 月 火 水 木 金 土

1 2

3 4 5 6 7 8 9

10 11 12 13 14 15 16

17 18 19 20 21 22 23

24 25 26 27 28 29 30

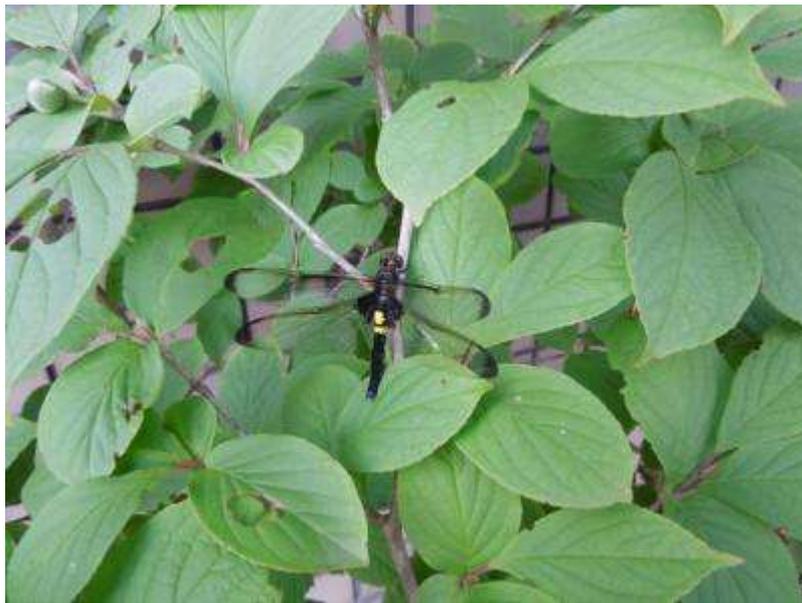
過去ログ

あなたは現在、2012年Juneの過去ログをしています。

June 3日Sunday: コシアキトンボが来館した。

カテゴリ: **General** 投稿者: tokita

午後4時頃、コシアキトンボの♀が鳥の博物館の自動ドアから入ってきた。そろそろこんな時期なのかと教えに来たようだ。早々に通用門から出した。その前にお姿をパチリ。



検索

検索

ナビゲーション

[前の月](#)

[次の月](#)

[今日の投稿](#)

[過去ログ](#)

カテゴリ

[全てのカテゴリ](#)

[General](#)

[お知らせ](#)

[観察会](#)

[観察会下見](#)

[昆虫](#)

[植物](#)

ログイン

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

ログイン

リンク

[我孫子市鳥の博物館](#)

google.co.jp



Copyright | Nucleus CMS v3.64 | Valid XHTML 1.0 Strict | Valid CSS | [トップページに戻る](#) | Since 15,Mar.2008

とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2012-04 >

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

過去ログ

あなたは現在、2012年Aprilの過去ログをしています。

April19日Thursday: 鳥の博物館の水槽

カテゴリ: [General](#) 投稿者: [tokita](#)

鳥の博物館の3階展望テラスには小さな水槽が5～6個あります。春になり魚たちもごそごそ動いています。ご来館いただいたとき3階テラスにも足を運んでください。手賀沼を遠望しちょっと一息。先日市民ボランティアの方が水槽の掃除をしてくれて、水槽内がよく見えるようになりました。



アカガエルのオタマジャクシもいます。

検索

検索

ナビゲーション

[前の月](#)

[次の月](#)

[今日の投稿](#)

[過去ログ](#)

カテゴリ

[全てのカテゴリ](#)

[General](#)

[お知らせ](#)

[観察会](#)

[観察会下見](#)

[昆虫](#)

[植物](#)

ログイン

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

ログイン

リンク

[我孫子市鳥の博物館](#)

google.co.jp



タイリクバラタナゴも元気に泳いでいる。



April14日Saturday: コイカルが鳴いている

カテゴリ: General 投稿者: tokita

桜咲く遊歩道でコイカルが鳴いている。
イラガの繭をしきりに突つき食べている様子を見た。



しきりに突つき食べている。

とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2012-02 >

日 月 火 水 木 金 土

1 2 3 4

5 6 7 8 9 10 11

12 13 14 15 16 17 18

19 20 21 22 23 24 25

26 27 28 29

過去ログ

あなたは現在、2012年Februaryの過去ログをしています。

February15日Wednesday: 鳥の世界は、春の兆し!?

カテゴリ: [General](#)

投稿者: [saito](#)



カルガモのつがい (左: ♀、右: ♂)

検索

検索

ナビゲーション

[前の月](#)

[次の月](#)

[今日の投稿](#)

[過去ログ](#)

カテゴリ

[全てのカテゴリ](#)

[General](#)

[お知らせ](#)

[観察会](#)

[観察会下見](#)

[昆虫](#)

[植物](#)

ログイン

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

ログイン

リンク

[我孫子市鳥の博物館](#)

[google.co.jp](#)



ムクドリのつがい (左: ♀、右: ♂)



コブハクチョウのつがい (左: ♀、右: ♂)

手賀沼周辺では、シジュウカラ、ヒバリ、ホオジロのさえずっています。
ウグイスがさえずるのも、間近か？

とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2012-01 >

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

過去ログ

あなたは現在、2012年Januaryの過去ログをしています。

January29日Sunday: 非常食料? ピラカンサ

カテゴリ: [General](#) 投稿者: [saito](#)

目立つ色の割には鳥に不人気のピラカンサ(トキワサンザシ)の果実。博物館事務室窓際の果実にも鳥が群がるようになりました。鳥にとってきびしい餌不足の時期のようです。どこの庭先の餌台もにぎわっていることでしょう。



真っ先にやって来たメジロ

検索

検索

ナビゲーション

[前の月](#)
[次の月](#)
[今日の投稿](#)
[過去ログ](#)

カテゴリ

[全てのカテゴリ](#)
[General](#)
[お知らせ](#)
[観察会](#)
[観察会下見](#)
[昆虫](#)
[植物](#)

ログイン

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

ログイン

リンク

[我孫子市鳥の博物館](#)
google.co.jp



わがもの顔のヒヨドリ



落ち着きなく群れでやってくるムクドリ

January20日Friday: 手賀沼でめっきり少なくなったハシビロガモ

カテゴリ: General

投稿者: saito



1月13日手賀沼の水鳥調査で手賀沼全域を観察した時にいたハシビロガモの雌雄。かつて数百羽の群れが見られた手賀沼。今では、全域観察してわずか2羽。湖北集水路付近で観察。

とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2011-10 >

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

過去ログ

あなたは現在、2011年Octoberの過去ログをしています。

October27日Thursday:

カテゴリ: [General](#) 投稿者: [saito](#)



博物館脇のカワラケツメイの果実結実。これを食べるツマグロキチョウ、付近では見ていません。

検索

ナビゲーション

[前の月](#)
[次の月](#)
[今日の投稿](#)
[過去ログ](#)

カテゴリ

[全てのカテゴリ](#)
[General](#)
[お知らせ](#)
[観察会](#)
[観察会下見](#)
[昆虫](#)
[植物](#)

ログイン

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

リンク

[我孫子市鳥の博物館](#)

google.co.jp



Copyright | Nucleus CMS v3.64 | Valid XHTML 1.0 Strict | Valid CSS | [トップページに戻る](#) | Since 15,Mar.2008

とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2011-08 >

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

過去ログ

あなたは現在、2011年Augustの過去ログをしています。

August27日Saturday: ツマグロヒョウモン

カテゴリ: [General](#) 投稿者: [tokita](#)

博物館の通用口に近い場所に2年前にツマグロヒョウモンの食草ツボスミレを植えた。昨年から少しずつツマグロヒョウモンが舞い、繁殖しだした場所です。周辺の所々に蛹を見つけることが出来た。

今日、ツマグロヒョウモンの母蝶がフワフワと飛び回っていた。現在、ツボスミレには終齢のツマグロヒョウモンの幼虫がたくさん見られる。



そろそろ蛹になる場所探しか?あちこちに大きな幼虫が寝そべっている。

検索

ナビゲーション

[前の月](#)
[次の月](#)
[今日の投稿](#)
[過去ログ](#)

カテゴリ

[全てのカテゴリ](#)
[General](#)
[お知らせ](#)
[観察会](#)
[観察会下見](#)
[昆虫](#)
[植物](#)

ログイン

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

リンク

[我孫子市鳥の博物館](#)
google.co.jp



母蝶はツボスミレに産卵している。ツボスミレは大きな群落となっているのですが、今日産卵した卵から孵った幼虫が蛹になるまで持ちこたえる事ができるであろうか、心配。



August 7日Sunday: ジャコウアゲハが羽化しました。

カテゴリ: General 投稿者: tokita

8月5日、博物館で産まれたジャコウアゲハが空に舞って行きました。

博物館の周囲に植栽して数年になるウマノスズクサに今年もどこからとなく現れて産卵してゆきました。ジャコウアゲハの幼虫はすくすくと育って蛹（※お菊虫）になり、先日羽化しました。



そろそろ鳥の博物館の小さな花壇にあるツボスミレにツマグロヒョウモン幼虫が顔をだす頃です。まだまだ暑い夏が続きますね。

※青山播磨守の家臣・喜多玄蕃の屋敷に奉公していたお菊が、食事の中に針が混じっていたことを理由に折檻され井戸へ投げ込まれた。その後お菊の最後の姿に似た虫が大量に現れ、玄蕃の家を呪い滅ぼしたという。

とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2011-07 >

日 月 火 水 木 金 土
1 2

3 4 5 6 7 8 9
10 11 12 13 14 15 16

17 18 19 20 21 22 23

24 25 26 27 28 29 30

31

過去ログ

あなたは現在、2011年Julyの過去ログをしています。

July14日Thursday: 鳥博まわりの生き物たち

カテゴリ: General 投稿者: saito



夜の博物館天井をヤモリが徘徊！

July14日Thursday: 鳥博まわりの生き物たち

カテゴリ: General 投稿者: saito

検索

検索

ナビゲーション

[前の月](#)

[次の月](#)

[今日の投稿](#)

[過去ログ](#)

カテゴリ

[全てのカテゴリ](#)

[General](#)

[お知らせ](#)

[観察会](#)

[観察会下見](#)

[昆虫](#)

[植物](#)

ログイン

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

ログイン

リンク

[我孫子市鳥の博物館](#)



google.co.jp



博物館の花壇のウマノスズクサにジャコウアゲハのメスが飛来。

July 6日Wednesday: 鳥博まわりの生き物たち

カテゴリ: General

投稿者: saito



博物館の裏庭に咲いたオトギリソウ（オトギリソウ科）。博物館周辺で初めて確認。黒い油点が目立つ。



外の流し場から、数个体飛び出したトウキョウヒメハンミョウの一つ。

July 2日Saturday: 鳥博まわりの生き物たち

カテゴリ: General 投稿者: saito



カラムシ（イラクサ科）の葉上のラミーカミキリのオス。
カラムシの栽培変種のラミーは、明治初期に中国から移入。これを食草とするラミーカミキリも一緒に日本上陸。

July 1日Friday: 鳥博まわりの生き物たち

カテゴリ: General 投稿者: saito



足の速いこの毛虫は、スジモンヒトリ（ヒトリガ科）の幼虫か？壁面をすばらしいスピードで上昇中。

とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2011-06 >

日 月 火 水 木 金 土

1 2 3 4

5 6 7 8 9 10 11

12 13 14 15 16 17 18

19 20 21 22 23 24 25

26 27 28 29 30

過去ログ

あなたは現在、2011年Juneの過去ログをしています。

June29日Wednesday: 鳥の博物館まわりの生き物たち

カテゴリ: General 投稿者: saito



昼行性のカノコガ（ヒトリガ科）のオス。裏山の湿った地面で吸水か？

June23日Thursday: 鳥博まわりの生き物たち

カテゴリ: General 投稿者: saito

検索

検索

ナビゲーション

前の月

次の月

今日の投稿

過去ログ

カテゴリ

全てのカテゴリ

General

お知らせ

観察会

観察会下見

昆虫

植物

ログイン

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

ログイン

リンク

我孫子市鳥の博物館

google.co.jp



サクラの葉を食べる飼育中のナナフシモドキ



どんどん食べて、頭頂から腹部端まで約10センチメートルに成長したナナフシモドキ。産卵間近か？

June21日Tuesday: 鳥博まわりの生き物たち

カテゴリ: General 投稿者: saito



鳥博通用門近くのサクラの葉上で休むビロードハマキ♂

June16日Thursday: 鳥の博物館まわりの生き物たち

カテゴリ: General 投稿者: saito



裏庭のサクラ（栽培品種‘旭山（アサヒヤマ）’で高さ50センチくらい）の果実が地面すれすれに完熟！

この低さ、鳥の目にはとまらない！？

June15日Wednesday: 鳥の博物館まわりの生き物たち

カテゴリ: General 投稿者: saito



クローバーについていたヨモギエダシャクの幼虫その1



クローバーについていたヨモギエダシャクの幼虫その2

June14日Tuesday: 鳥の博物館まわりの生き物たち

カテゴリ: General 投稿者: saito



栽培しているミズアオイが発芽！ちょっと意外な葉の形。開花は7月頃か？



3階展望テラスで飼育中のタイリクバラタナゴ。水草はガシャモク。底に2年間生存中のドブガイがいて、昨年はこの貝に産卵したタナゴが繁殖。

June10日Friday: 鳥の博物館まわりの生き物たち

カテゴリ: [General](#)

投稿者: [saito](#)



博物館前の沼べりの草むらのあちこちに、ヒメギスの幼虫がたくさん。

June 8日Wednesday: 博物館まわりの生き物たち

カテゴリ: General 投稿者: saito



写真は昨日6月7日、天王台北口のムクドリの群れ。この後、ケヤキの樹内に墾入り。

June 7日Tuesday: 鳥の博物館まわりの生き物たち

カテゴリ: General 投稿者: saito



栽培中のガシャモクの水槽の中のアズマヒキガエル。そろそろ上陸か。

June 5日Sunday: 鳥の博物館まわりの生き物たち

カテゴリ: General

投稿者: saito



栽培しているコオニタビラコ（春の七草のほとけのざ）の種子がこぼれました。先端に二つの鉤がついています。左は下を向いて広がった萼（がく）。ここに種子が数個ついていました。

June 4日Saturday: 鳥の博物館まわりの生き物たち

カテゴリ: General

投稿者: saito



来週の観察会下見でおとずれた付近の社寺林で、スタッフがホソオビヒゲナガガ
♂を見つけました。いつ見ても優雅なひげです。

June 3日Friday: 鳥の博物館まわりの生き物たち

カテゴリ: [General](#) 投稿者: [saito](#)



ヨダンハエトリが食事中。獲物はハエの仲間？

June 2日Thursday: 鳥の博物館まわりの生き物たち

カテゴリ: [General](#) 投稿者: [saito](#)



雨の中、植栽したヤマボウシの花が咲いています。

June 1日Wednesday: 鳥の博物館まわりの生き物たち

カテゴリ: General 投稿者: saito



裏山のシキミに果実がついていました。
まだ未熟ですが、シキミは、全木毒劇法の劇物！要注意！

とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2011-05 >

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

過去ログ

あなたは現在、2011年Mayの過去ログをしています。

May31日Tuesday: 鳥の博物館まわりの生き物たち

カテゴリ: General 投稿者: saito



田んぼで羽づくろいするカルガモ4羽。
 上尾筒、下尾筒が黒褐色でうろこ模様もなく、全部オスのようですが・・・。
 どんな、集団なんでしょう？

May28日Saturday: 鳥の博物館まわりの生き物たち

カテゴリ: General 投稿者: saito

検索

検索

ナビゲーション

- 前の月
- 次の月
- 今日の投稿
- 過去ログ

カテゴリ

- 全てのカテゴリ
- General
- お知らせ
- 観察会
- 観察会下見
- 昆虫
- 植物

ログイン

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

ログイン

リンク

我孫子市鳥の博物館
google.co.jp



飼育中のナナフシモドキ幼虫（我孫子産）←桜（ちなみに品種は‘オカメ’）の葉っぱ食べてます（6/2追記）

現在、頭から尾端まで5センチくらい。まだまだ大きくなります。



ナナフシモドキの顔



ナナフシモドキの口

May27日Friday: 鳥の博物館まわりの生き物たち

カテゴリ: General 投稿者: saito



エノキの葉を食べるマイマイガの幼虫。

May26日Thursday: 鳥の博物館まわりの生き物たち

カテゴリ: General 投稿者: saito



今日、手賀沼全域のオオヨシキリのソングポスト（さえずり場所）のカウントを行ったら、40地点しか確認できませんでした。これは、十数年前の四分の一。



手賀沼に、キンクロハジロの雌が残ってました。

May25日Wednesday: 鳥の博物館まわりの生き物たち

カテゴリ: [General](#) 投稿者: [saito](#)



どどめ色に熟すまでもう少し。ムクドリが大好物のヤマグワの果実。
ところで、どどめは「土留め」と書き、土手が崩れるのを防ぐためにクワが植
えられたことに由来するそう。

May24日Tuesday: 鳥の博物館まわりの生き物たち

カテゴリ: General 投稿者: saito



数羽のスズメがサクラやニセアカシアの葉裏で懸命にホバリング

↓



付近の巣立ち雛に時々給餌

↓



葉裏についた無数のユスリカを捕らえて雛に与えている模様
ユスリカは育雛期のスズメの有力な餌資源か!?

May22日Sunday: 鳥の博物館まわりの生き物たち

カテゴリ: General

投稿者: saito



ニョイスミレの種子がはじけそう

May20日Friday: 鳥の博物館まわりの生き物たち

カテゴリ: General 投稿者: saito



カワラケツメイがこぼれ種から発芽して本葉を出しました。

May19日Thursday: 鳥の博物館まわりの生き物たち

カテゴリ: General 投稿者: saito



クロマルハナバチ (×←コマルハナバチの誤認か? 5/23加筆) のメスがエゴノキの花の蜜を吸っていました
脚には花粉団子が・・・

May18日Wednesday: 鳥の博物館まわりの生き物たち

カテゴリ: General 投稿者: saito



ガシャモク栽培用のコンテナに落ちたヤモリ
水中でも元気に動き回り、取り出すと、一目散に物影へ



栽培中のコオニタビラコに花が咲く



裏口のエゴノキの花が最盛期

May18日Wednesday: 裏庭の畑のアゲハチョウ

カテゴリ: General

投稿者: saito



鳥の博物館裏庭のサンショウの葉上のアゲハ

とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2011-01 >

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

過去ログ

あなたは現在、2011年Januaryの過去ログをしています。

January28日Friday: 1月の「てがたん」は冬鳥を観察しました

カテゴリ: [General](#) 投稿者: [saito](#)

今年初のとがたん（手賀沼定例探鳥会）では、冬鳥を観察しました。

冬は、手賀沼が水鳥たちで一番にぎわう季節です。氷雪に閉ざされる地域から、ほとんど雪の降らない関東平野へ、越冬のために飛来するからです。



今回の案内役、木村さんの冬鳥の解説からスタートしました。

検索

検索

ナビゲーション

[前の月](#)

[次の月](#)

[今日の投稿](#)

[過去ログ](#)

カテゴリ

[全てのカテゴリ](#)

[General](#)

[お知らせ](#)

[観察会](#)

[観察会下見](#)

[昆虫](#)

[植物](#)

ログイン

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

ログイン

リンク

[我孫子市鳥の博物館](#)



google.co.jp



オナガガモやオオバンやユリカモメが集まって来ます。人を見ると餌がもらえることを学習しています。餌付けは、間近に鳥を観察できる反面、野生の鳥の習性へ、少なからず影響を与えることも頭に入れておく必要があります。



オナガガモは、水面での餌が少なくなると、芝生へ上がって、草を食べ始めます。鳥インフルエンザ蔓延のきざしが叫ばれる昨今、たとえば、人が靴底にウイルスを含んだカモの糞など付けて、あちこちに運んでしまわぬよう、また、そのまま決して鶏舎に近づくことなど無きよう、最低限の配慮をすることは、バードウォッチャーのマナーですよ。



手賀沼の遊歩道沿いを散策しながら、水辺の冬鳥を観察しました。



遊歩道わきの樹上に、珍しくマヒワがいました。今年は、当たり年でしょうか？

とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2010-12 >

日 月 火 水 木 金 土

1 2 3 4

5 6 7 8 9 10 11

12 13 14 15 16 17 18

19 20 21 22 23 24 25

26 27 28 29 30 31

過去ログ

あなたは現在、2010年Decemberの過去ログをしています。

December12日Sunday: キアゲハの幼虫 12月に蛹になった。

カテゴリ: [General](#) 投稿者: [tokita](#)

今年もなんだか温かな冬、ときおり寒気が入るともの凄く寒いように感じる。

12月にチョウの幼虫が蛹になるなんて？やはり温かなのでしょね。

11月の末にアシタバの葉の上にキアゲハの幼虫が寒空に震えているように見えた。普通のキアゲハの幼虫と違って真っ黒でした。調べて見ると黒化個体とって寒冷地域に多いようだ。



12月11日 キアゲハの幼虫が前蛹（蛹になる前の状態）で見つかった。12月だというのに珍しい事です。無事サナギになれるかどうかと心配でした。

検索

検索

ナビゲーション

[前の月](#)

[次の月](#)

[今日の投稿](#)

[過去ログ](#)

カテゴリ

[全てのカテゴリ](#)

[General](#)

[お知らせ](#)

[観察会](#)

[観察会下見](#)

[昆虫](#)

[植物](#)

ログイン

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

ログイン

リンク

[我孫子市鳥の博物館](#)

google.co.jp



無事本日蛹になっていました。来年の春まで暫しの越冬です。

※ことごとく寄生蠅や寄生蜂にやられているので、脇腹に穴が空いて.....でないことを祈ります。

とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2010-10 >

日	月	火	水	木	金	土
						1 2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
						31

過去ログ

あなたは現在、2010年Octoberの過去ログをしています。

October16日Saturday: タヌキとイタチと秋の気配・・・

カテゴリ: [General](#) 投稿者: [saito](#)

今日（10月15日）午前中、手賀沼の水鳥のセンサス調査を行いました。
 下沼を回るとイタチとタヌキに次々に遭遇！
 水面では、コガモ、オナガガモ、ユリカモメなど、冬鳥も増えています。



まずは、ニホンイタチに遭遇！

検索

検索

ナビゲーション

- [前の月](#)
- [次の月](#)
- [今日の投稿](#)
- [過去ログ](#)

カテゴリ

- [全てのカテゴリ](#)
- [General](#)
- [お知らせ](#)
- [観察会](#)
- [観察会下見](#)
- [昆虫](#)
- [植物](#)

ログイン

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

ログイン

リンク

[我孫子市鳥の博物館](#)



google.co.jp



タヌキにもバツタリ！



ヒヨドリの群れも南下中！



モズのオスが、ヒバリのさえずりをまねていました。



マガモのオス、エクリップス（非繁殖期の目立たない羽装）から繁殖羽に移行中のものも混じってました。



季節を感じさせる、アキノノゲシの花。



ノブドウの果実は、虫えいで色とりどり。



エビヅルも実りの季節。



植栽されたコムラサキシキブの果実。



枝豆（大豆）の原種といわれるツルマメの果実。



北上を続けるチョウ、ウラナミシジミがクズの群落内に多数乱舞していました。

October 7日Thursday: 「あびこ自然観察隊－利根川ゆうゆう公園でバッタ観察－」

カテゴリ: General

投稿者: saito



10月3日、秋晴れの利根川ゆうゆう公園の自然観察ゾーンでバッタの観察会を行いました。観察会の後半のプログラムとしてバッタ釣りのアトラクションを入れてみました。



「バッタ釣り」は、トノサマバッタの交尾行動を利用した捕獲方法。参加者は、親子で挑戦！！



さっそくトノサマバッタのオスが寄ってきました。
適度な大きさの物体のバッタ的動き（びよんびよん）が誘因か？ここが腕の見せ所！



意外とすぐに飛び乗りました。
今年は、トノサマバッタの産卵期とタイミングがうまくあったためか、半数以上の親子がワッカ釣りに成功！！
アトラクションとしては、まずは成功でしょう（主催者の希望的感想！）。



これが本来の姿。上にのっかったオスは、よく後肢と羽をすり合わせて、シリシリシリと声（音）を出します。きっと他のオスに対して「近寄るな」の意思表示なのでしょう。

とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2010-07 >

日 月 火 水 木 金 土

1 2 3

4 5 6 7 8 9 10

11 12 13 14 15 16 17

18 19 20 21 22 23 24

25 26 27 28 29 30 31

過去ログ

あなたは現在、2010年Julyの過去ログをしています。

July12日Monday: 7月10日の観察会「てがたん」の様子と見た生き物いくつか

カテゴリ: General 投稿者: saito



7月の「てがたん」にも沢山の参加者が来てくれました

検索

検索

ナビゲーション

前の月

次の月

今日の投稿

過去ログ

カテゴリ

全てのカテゴリ

General

お知らせ

観察会

観察会下見

昆虫

植物

ログイン

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

ログイン

リンク

我孫子市鳥の博物館

google.co.jp



スタッフが近所でツミの羽毛を拾って来てくれました



これは、セイタカアワダチソウグンバイ



観察コース途中のイチヨウの樹の根元のニホンミツバチの巣



樹林内で見つけたナツアカネ



アオバハゴロモの幼虫



アミガサハゴロモの幼虫か？



タケカレハ幼虫（立体視が得意な方はぜひ！）



アオイラガの仲間の幼虫



サツマノミダマシ



こちらはサツマノミ（薩摩の実）＝ハゼの果実



ササキリ幼虫



ムクドリ幼鳥



セグロセキレイ幼鳥



ハシボソガラスがあえぎ呼吸（パンティング）・・・暑い！



参加者の背後の遠くに見えるのは花蓮です

Copyright | Nucleus CMS v3.64 | Valid XHTML 1.0 Strict | Valid CSS | [トップページに戻る](#) | Since 15,Mar.2008

とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2010-04 >

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

過去ログ

あなたは現在、2010年Aprilの過去ログをしています。

April10日Saturday: 手賀沼遊歩道は桜満開です！

カテゴリ: [General](#)

投稿者: [saito](#)



今日は、手賀沼定例探鳥会（通称「てがたん」）で、遊歩道を歩きました。この遊歩道は、最近ちょっとしたコイカルフィーバーです（鳥博日誌4/5参照）。桜は満開で、よい花見日和でした。そして、観察会のテーマはズバリ桜！「サクラに集まる生き物たち」です。

検索

検索

ナビゲーション

[前の月](#)

[次の月](#)

[今日の投稿](#)

[過去ログ](#)

カテゴリ

[全てのカテゴリ](#)

[General](#)

[お知らせ](#)

[観察会](#)

[観察会下見](#)

[昆虫](#)

[植物](#)

ログイン

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

ログイン

リンク

[我孫子市鳥の博物館](#)

[google.co.jp](#)



花見の主演は、‘染井吉野（そめいよしの）’。この桜は、野生種のオオシマザクラとエドヒガンのかけ合わせにより作出された園芸品種で、江戸時代に江戸染井村の植木屋さんが売り出したものだそうです。



‘ソメイヨシノ’の父方のオオシマザクラ。



‘ソメイヨシノ’の母方のエドヒガンザクラ。



日本人に限らず、スズメも桜が好き！。花をちぎって花蜜を食べた残骸が、桜の樹の下に散らばっています。花見ならぬ花味か？。



桜好きにかけては、ヒヨドリも負けてはいません。こちらは、長い嘴と舌を使って上手に蜜を吸い取るので、花へのダメージはありません。花にとっては、花粉を運んでくれる、ありがたい仲間です。とはいえ、'染井吉野'は自家受粉では結実しない自家不和合性なので、まわりが'染井吉野'だらけでは、あまり大きな役割は果たせないかもしれませんね。

とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2010-03 >

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

過去ログ

あなたは現在、2010年Marchの過去ログをしています。

March18日Thursday: 地付きのヒヨドリ？

カテゴリ: [General](#) 投稿者: [saito](#)



・博物館のピラカンサ（トキワサンンザシ）に残っている果実を、ヒヨドリが食べにきています。一月前までは、ジョウビタキやツグミも来ていましたが、今はヒヨドリが一日中独占状態！

March16日Tuesday: ウグイスがさえずり、ツバメも来ました！

カテゴリ: [General](#) 投稿者: [saito](#)

- ・3月1日：ウグイスのさえずり情報（東我孫子）。
- ・3月14日：ツバメの初認（北新田）。

検索

検索

ナビゲーション

- [前の月](#)
- [次の月](#)
- [今日の投稿](#)
- [過去ログ](#)

カテゴリ

- [全てのカテゴリ](#)
- [General](#)
- [お知らせ](#)
- [観察会](#)
- [観察会下見](#)
- [昆虫](#)
- [植物](#)

ログイン

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

ログイン

リンク

[我孫子市鳥の博物館](#)
google.co.jp



・ハシボソガラスが巣材集めしています（撮影：小笠原さん）
そろそろ鳥たちも繁殖の季節ですね。博物館職員が市内の調査の時にエナガが巣材を運んでいるのを見かけたそうです。



・コブシの花も咲き始めました。ヒヨドリがよくこの花びらを食べています。



・手賀沼遊歩道では、ムラサキサギゴケが咲いていました。



・トックリバチの仲間の巣も見つかりました。脱出孔がないので、中に冬越しの蛹がいるのでしょうか。

とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2010-01 >

日	月	火	水	木	金	土
						1 2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

過去ログ

あなたは現在、2010年Januaryの過去ログをしています。

January22日Friday: 季節外れのチョウ

カテゴリ: **General** 投稿者: **tokita**

昨日千葉県柏市から季節外れのナガサキアゲハの話題が飛び込んだ。温暖化？人為的？かどうか分かりませんが、それにしても驚きです。ここ2～3日の暖かさに羽化した物と思われませんが、非常に珍しい事です。同時期、宮崎県ではベニシジミ、イシガケチョウ、クロセセリやウラナミシジミの羽化が見られたそうです。撮影者；Oさんのご厚意で写真を掲載致します。

チョウが飛んでましたらお知らせいただくと貴重なデータとなります。



検索

ナビゲーション

[前の月](#)
[次の月](#)
[今日の投稿](#)
[過去ログ](#)

カテゴリ

[全てのカテゴリ](#)
[General](#)
[お知らせ](#)
[観察会](#)
[観察会下見](#)
[昆虫](#)
[植物](#)

ログイン

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

リンク

[我孫子市鳥の博物館](#)

google.co.jp



Copyright | Nucleus CMS v3.64 | Valid XHTML 1.0 Strict | Valid CSS | [トップページに戻る](#) | Since 15,Mar.2008

とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2009-12 >

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4 5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

過去ログ

あなたは現在、2009年Decemberの過去ログをしています。

December25日Friday: 銚子の海は油の海？

カテゴリ: **General** 投稿者: **tokita**

今日銚子で拾われたビロードキンクロとクロガモの斃死鳥が持ち込まれた。鳥の博物館にとってはビロードキンクロは初めての資料だ！残せる標本として大切に保存したい。それにしても特にクロガモは油まみれだった。拾われた方の話では、昨日は砂浜に息絶え絶えでクロガモが飛べずに佇んでいたようだ。



そのクロガモがまた1羽、また1羽と死んゆくと光景を見たという。どうしようも出来ない苛立ちを感じますね。大規模なタンカー事故ではなく、日々のちょっとした油投棄がこのような結果を招くのだらうと思う。

検索

検索

ナビゲーション

- 前の月
- 次の月
- 今日の投稿
- 過去ログ

カテゴリ

- 全てのカテゴリ
- General
- お知らせ
- 観察会
- 観察会下見
- 昆虫
- 植物

ログイン

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

ログイン

リンク

我孫子市鳥の博物館
google.co.jp



ピロードキンクロも油の被害者なんだろう。



とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2009-10 >

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

過去ログ

あなたは現在、2009年Octoberの過去ログをしています。

October24日Saturday: 台風一過、手賀沼にコグンカンドリが飛来！

カテゴリ: [General](#) 投稿者: [saito](#)



コグンカンドリ (2009年10月8日正午頃、小池心一さん撮影)

先日、日本本土を直撃した台風18号、各地に被害をもたらしましたが、手賀沼にはコグンカンドリを運んできました。

コグンカンドリは熱帯・亜熱帯にすむ海鳥です。日本では迷鳥としてしばしば観察されることがありますが、手賀沼では初記録です。

発見したのは、手賀沼公園のボート屋さんの小池さん。息子さんの心一さんが写真撮影し、教えてくれました。

検索

検索

ナビゲーション

[前の月](#)

[次の月](#)

[今日の投稿](#)

[過去ログ](#)

カテゴリ

[全てのカテゴリ](#)

[General](#)

[お知らせ](#)

[観察会](#)

[観察会下見](#)

[昆虫](#)

[植物](#)

ログイン

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

ログイン

リンク

[我孫子市鳥の博物館](#)

google.co.jp



Copyright | Nucleus CMS v3.64 | Valid XHTML 1.0 Strict | Valid CSS | [トップページに戻る](#) | Since 15,Mar.2008

とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2009-09 >

日 月 火 水 木 金 土

1 2 3 4 5

6 7 8 9 10 11 12

13 14 15 16 17 18 19

20 21 22 23 24 25 26

27 28 29 30

過去ログ

あなたは現在、2009年Septemberの過去ログをしています。

September 1日Tuesday: キラリと光るイラガセイボウ発見！

カテゴリ: General

投稿者: saito



博物館の裏で、イラガセイボウという寄生蜂の仲間を見つけました。イラガセイボウの前にあるイラガの繭の頂点に、ぽつんと穴が写っています。イラガセイボウは、かたい繭に穴を開け、中の幼虫に産卵するそうです。おそらくその産卵痕でしょう。

かつて鳥の博物館の学生ボランティア（市民スタッフ）だった当時中学生の米田君が、手賀沼周辺などで400個近いイラガの繭を調査した結果、半数以上がこのハチに寄生されていたという研究を残しています。

さされると痛い幼虫のトゲとかたい殻の繭を思えば無敵のようですが、どの世界も生き残ることは、楽ではないようです。

検索

ナビゲーション

[前の月](#)[次の月](#)[今日の投稿](#)[過去ログ](#)

カテゴリ

[全てのカテゴリ](#)[General](#)[お知らせ](#)[観察会](#)[観察会下見](#)[昆虫](#)[植物](#)

ログイン

ログインID:

パスワード:

 このPCを他の人と共用する

リンク

[我孫子市鳥の博物館](#)google.co.jp



Copyright | Nucleus CMS v3.64 | Valid XHTML 1.0 Strict | Valid CSS | [トップページに戻る](#) | Since 15,Mar.2008

とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2009-08 >

日 月 火 水 木 金 土
1

2 3 4 5 6 7 8
9 10 11 12 13 14 15
16 17 18 19 20 21 22
23 24 25 26 27 28 29
30 31

過去ログ

あなたは現在、2009年Augustの過去ログをえています。

August 5日Wednesday: クマゼミとツクツクボウシの最近の鳴き声情報

カテゴリ: General 投稿者: saito

- ・2009.8.1 18:00頃 ツクツクボウシの声 (茨城県取手市戸頭)
- ・2009.8.5 18:00頃 ツクツクボウシの声 (我孫子市高野山)
- ・2009.8.5 7:50頃 クマゼミの声 (茨城県取手市戸頭)

August 4日Tuesday: キアゲハが羽化しました。

カテゴリ: General 投稿者: saito

7月24日に当ブログで紹介しましたキアゲハの幼虫が、約1週間経て今日、無事に羽化しました。



(羽化したチョウ)

検索

ナビゲーション

- 前の月
- 次の月
- 今日の投稿
- 過去ログ

カテゴリ

- 全てのカテゴリ
- General
- お知らせ
- 観察会
- 観察会下見
- 昆虫
- 植物

ログイン

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

リンク

我孫子市鳥の博物館

google.co.jp



(抜け殻)

August 4日Tuesday: スズムシが鳴き出しました。

カテゴリ: General 投稿者: saito

5月26日の当ブログで孵化したことをお知らせしたスズムシが、鳴き始めました。孵化してから約2ヶ月を経て、成長したオスは鳴き、メスは卵を産み、確実に次世代へと「スズムシであること」が、引き継がれてゆきます。



(鳴くオスと近づくメス)

August 4日Tuesday: ホウネンエビを食うカブトエビ

カテゴリ: General 投稿者: saito



鳥の博物館3階展望テラスで保管していた田んぼの土にハウネンエビとカブトエビが発生しているのを館長がを見つけました。水槽に入れてみんなで見る事ができるようにしようと移動している最中、カブトエビがハウネンエビを食べ始めました。

August 1日Saturday: コオイムシ発見！

カテゴリ: General 投稿者: saito

来週(8/8)の「てがたん」(手賀沼定例探鳥会)は、魚がテーマ。下見で水路の魚を捜していると、市民スタッフの古川さんがコオイムシをキャッチ。翅がまだ伸びきっていない幼虫です。



↓

小魚と水草を入れたプラケースにフタをして飼育してみました。

↓

翌日、脱皮して、一回り大きな成虫になっていました。翅もしっかりと伸びています。



↓

近くには、幼虫と瓜二つの抜け殻が残っていました。



August 1日Saturday: この羽、だれの羽？

カテゴリ: General

投稿者: saito



何の羽毛？、市民スタッフの小泉さんが博物館のすぐ近くで見つけて拾って来てくれました。

↓

この横斑は、きっとワシタカの仲間。オオタカか？ハイタカ？など考えながら、標本と比較。



↓

サシバとぴったり一致。そういえば横斑の幅がやけに広いことに、改めて気がつきます。



↓

子育てを終え移動し始めたサシバが、落としていったのかも知れませんね。

とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2009-07 >

日 月 火 水 木 金 土

1 2 3 4

5 6 7 8 9 10 11

12 13 14 15 16 17 18

19 20 21 22 23 24 25

26 27 28 29 30 31

過去ログ

あなたは現在、2009年Julyの過去ログを見えています。

July24日Friday: 鳥の博物館まわりの、最近の生き物ニュース

カテゴリ: [General](#)

投稿者: [saito](#)



7月20日、3階ベランダの水槽のササバモに今年初めて花が咲きました。ガシャモクとそっくりの、雌性先熟の花でした。同日、鳥の博物館裏山の斜面林からアブラゼミの音が聞こえました。

検索

検索

ナビゲーション

[前の月](#)

[次の月](#)

[今日の投稿](#)

[過去ログ](#)

カテゴリ

[全てのカテゴリ](#)

[General](#)

[お知らせ](#)

[観察会](#)

[観察会下見](#)

[昆虫](#)

[植物](#)

ログイン

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

ログイン

リンク

[我孫子市鳥の博物館](#)

google.co.jp



7月24日、鳥博まわりに植栽されたアシタバに、キアゲハの幼虫が大発生?!

これだけの幼虫を養うのにアシタバが足りるのか、少々心配です。



7月24日、鳥博友の会・市民スタッフルームの三角窓にキアシナガバチの巣を発見。

July11日Saturday: 手賀沼遊歩道で見かけた生き物 (7月11日)

カテゴリ: [General](#) 投稿者: [saito](#)

★7月のてがたん (手賀沼定例探鳥会) の時に見かけた手賀沼遊歩道の生き物です。



ニイニゼミがたくさん鳴いていましたが、今年初めてアブラゼミも確認。



アオダイショウの抜け殻（桜の樹皮に張り付いていたそうです）



1 m 7 5 c m のアオダイショウでした。



ヒメギス (長翅タイプの個体です)



ウスイロササキリもいました。



カナヘビ



クロヘリアオイラガの幼虫



マイマイガのオスがメスを捜して舞っていました。触角は嗅覚センサー。



カメムシの仲間のナガメ



オオミズアオの幼虫（終齢）がサクラの幹を上っていました（繭をつくる場所を捜しているようです）



スズメガの仲間のコスズメの幼虫も、蛹になる場所を探してうろうろしていたのでしょ。遊歩道上で踏みつぶされてしまいました。



庭先に植えられたリョウブの花が咲いていました。良い香の花です。



上陸したばかりのウシガエル。



日中はいつも飛んでいるウスバキトンボも一休み。

July10日Friday: 虫の声の初耳情報

カテゴリ: General 投稿者: saito

★我孫子市の対岸の茨城県取手市戸頭付近で聞いた虫の声の初耳情報です。
そろそろ、セミの季節です。

- ・2009.7.8 19:00 ヒグラシの声を聞く。
- ・2009.7.9 18:40 ニイニゼミの声とハヤシノウマオイの声を聞く。

July 4日Saturday: 今日、てがたん下見で見つけた虫たち！

カテゴリ: General 投稿者: saito

今日は、7月11日（土）に行う手賀沼定例探鳥会（てがたん）の下見を行

いました。来週の観察会のテーマは虫と餌なので、昆虫を中心に見て回りました。取材ということで、キッズジャーナルの記者さんも一緒でした。

見つけた昆虫を一種類ずつ見ていると日が暮れてしまいそうな多様性です。

とにかく登場した昆虫やクモや花（のほんの一部）をご覧ください。よく似た姿のハムシ類に、うんざりするかも知れませんが…。



下見の様子



アオイラガの幼虫が桜の葉に群がっていました。要注意！



ゴマダラカミキリ



クワカミキリの雌雄



ハンゲショウ（半夏生または半化粧）

半夏生（季節を表す七十二候の一つで毎年7月2日頃）のころに咲くから、あるいは半分化粧したように斑入りだから等が名前の由来とか。



ナワシロイチゴの果実



ハンノキハムシがハンノキの葉を穴だらけにしていました



カラスウリの葉上のクロウリハムシ



テントウノミハムシ (ヒメアカホシテントウそっくりのハムシでノミのようにぴょんと跳ねて飛び出します)



ヤマノイモの葉を食べるヤマノイモハムシ



シダレヤナギの葉上のヤナギリリハムシ



ヤナギリリハムシの幼虫



ヒレルクチプトゾウムシという名前のゾウムシ



アシタバ（セリ科）の葉を食べるキアゲハの幼虫



オオカマキリ幼虫



金属光沢のある瑠璃色が美しいルリチュウレンジバチ



ルリチュウレンジバチの幼虫



アワダチソウグンバイ（最近全国に広がっていると言われる北米原産のカメムシの仲間）



円網の体を横たえて(?)獲物を待つ、カラスゴミグモの雌



棚のように張った網で獲物を待つ、クサグモ

July 4日Saturday: 6月後半の自然通信

カテゴリ: General 投稿者: saito

★6月23日、鳥博事務所前の巣箱は空っぽ。以前に3日齢ほどのヒナを確認していることから、孵化後17日目と推定され、巣立ちか?、あるいは…。巣内の産座がつぶれていることや、巣箱内には無いはずの枯れ草が入っていることに、一抹の不安が…。



(時田学芸員撮影)

鳥博事務所前のキンモクセイの中に、職員がアオダイショウを発見。
確証はありませんが、もしかすると、ヒナはこのヘビの体内に？

- ・ 6/25・・・博物館前でヤブキリの声を聞く。
- ・ 6/28・・・博物館前の畑でたくさんのマダラスズの声が聞こえる。

とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2009-06 >

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

過去ログ

あなたは現在、2009年Juneの過去ログをしています。

June15日Monday: 6月前半、まとめて自然通信

カテゴリ: [General](#) 投稿者: [saito](#)

★6月13日アズマモグラの斃死体を鳥博前の路上で発見！！



常連の来館者の方が、路上にモグラが落ちていると教えてくれました。死因は不明ですが、ミミズを食べる「歯」、穴を掘り進む「手」、改めてみると合理的な作りです。

★6月12日シジュウカラの雄、ヒナの糞を運び出すところ

検索

検索

ナビゲーション

- [前の月](#)
- [次の月](#)
- [今日の投稿](#)
- [過去ログ](#)

カテゴリ

- [全てのカテゴリ](#)
- [General](#)
- [お知らせ](#)
- [観察会](#)
- [観察会下見](#)
- [昆虫](#)
- [植物](#)

ログイン

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

ログイン

リンク

[我孫子市鳥の博物館](#)
google.co.jp



シジュウカラは、卵が孵化するまで、巣内での子育てはメスが行い、オスはメスに餌を運ぶだけですが、ヒナが産まれると、餌運びはもちろん糞掃除も積極的に行うようになります。…博物館事務所前の巣箱の様子

★6月9日シジュウカラにヒナ誕生



博物館の事務所前に設置した巣箱にシジュウカラの出入りがさかんです。繁殖ステージを確認するため、手早く巣箱内をのぞいたところ、孵化後2～3日のヒナが確認できました。6月22日の週に、巣立つ予想です。

★6月7日ナナフシモドキが産卵開始



4月26日の当ブログで紹介したナナフシモドキ、サクラの葉を食べ順調に成長し、体長10センチほどになりました。6月7日に飼育ケースをのぞいてみると、すでに産卵がはじまっていて、22卵数えることができました。

★6月6日アシダカグモ再来



5月20日の当ブログで紹介したアシダカグモ、今日(6/6)鳥の博物館の事務室となりの厨房で職員が発見しました。さっそく飼育ケースに入れ、裏山に近いベランダで捕らえたゴキブリ幼虫を与えると、あっという間に捕らえ食べ始めました。結局この日は、ゴキブリ2匹をたいらげました。

★その他季節の話題

- ・2009.4.28 オオヨシキリさえずりを聞く(利根川ゆうゆう公園)
- ・2009.5.23 ホトトギスさえずりを聞く(取手市戸頭)

とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2009-05 >

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

過去ログ

あなたは現在、2009年Mayの過去ログを見ています。

May26日Tuesday: スズムシが孵化しました。

カテゴリ: [General](#) 投稿者: [saito](#)

手賀沼の遊歩道を歩くと、キンヒバリやタンボコオロギの音がさかんに聞かれるようになりました。そして、鳥の博物館内では、飼育していたスズムシが孵化しました。

このスズムシは、昨年8月末に、鳥博市民スタッフの方にいただいたものです。10月に産卵し、やがて成虫は死に絶えましたが、今年次世代が誕生しました。

孵化直後は白く、1時間ほどで黒く色づくそうです。卵もまだ残っているので、これからしばらく孵化ラッシュが続きそうです。

孵化直後の幼虫は体長2ミリほど。まだ雌雄は分かりません。これから5~6回脱皮して、8月頃には鳴き始めることでしょう。



(卵と孵化後の幼虫)

検索

ナビゲーション

[前の月](#)
[次の月](#)
[今日の投稿](#)
[過去ログ](#)

カテゴリ

[全てのカテゴリ](#)
[General](#)
[お知らせ](#)
[観察会](#)
[観察会下見](#)
[昆虫](#)
[植物](#)

ログイン

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

リンク

[我孫子市鳥の博物館](#)

google.co.jp



(孵化直後の幼虫)



(孵化して1時間ほどで黒く色づきます)

May22日Friday: 今日の訪問者 (動物編)

カテゴリ: General

投稿者: saito



今朝（5/22）、職員通用門の下駄箱の上で休息中の緑色のスズメガの仲間を、出勤してきた職員がを見つけました。

ウンモンズズメガ（雲紋雀蛾）という、夜行性のスズメガ科の一種のオスで、本種はニレ科のケヤキやアキニレでしばしば大発生するそうです。名前は、雲がたなびくような前翅の紋様に由来します。意外にも後翅は赤色！

May20日Wednesday: 珍客、アシダカグモ現れる！

カテゴリ: General 投稿者: saito



今日（5/20）の夕方7時頃、鳥の博物館職員通用門のドアの前にアシダカグモのメスが姿を現しました。「ゴキブリを食べる日本最大の徘徊性のクモ」としてご存知の方も多はず。日本では千葉県以南が生息地ですが、近年、分布を北へ広げていると考えられています。正面から見ると、立派な牙と8つの目がいらんでいます。

May 9日Saturday: 今日の写真。

カテゴリ: General 投稿者: saito

今日の「てがたん」（手賀沼定例探鳥会）で観察した生物をいくつか紹介します。



エビグモとそれに寄生するクモタカラダニ。一体、ダニ何匹までが許容範囲なんでしょう？



5/2のてがたん下見で紹介しました、クロハネシロヒゲナガのメスの方です。→訂正（5/20）ホソオビヒゲナガのメスでした。



いつも観察していた、手賀沼遊歩道沿いのオノエヤナギ（雌株）から、ヤマトシロアリが飛び出して来ました。結婚飛行へと飛び出すキングとクイーン、すごい繁殖力です！でも、朽木が好物のシロアリが発生したということは・・・、ヤナギの行く末も心配です。

May 2日Saturday: 博物館周辺の生き物通信

カテゴリ: **General** 投稿者: **saito**

今日（5/2）、市民スタッフのメンバーと一緒に手賀沼定例探鳥会（てがたん）の下見を行いました。その時、見つけたものをいくつかご覧ください。



ニホンミツバチの分蜂の季節です。イチョウの大木の洞の巣穴にいた女王バチが、新女王の誕生とともに、新天地を求めて飛び立ったのでしょうか。



クロハネシロヒゲナガ（ヒゲナガガ科）のオス。昼行性のガの仲間で、オスの触角の長さは、体長の約3倍。触角をなびかせてひらひら飛ぶ姿は、とてもガの仲間とは思えません。



ナミテントウの産卵シーンと遭遇。



鳥の博物館前のヨシ原になわばりを持つコブハクチョウのつがいにヒナが誕生。



斜面林からの絞り水のある場所で、サワガニ発見。

とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2009-04 >

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

過去ログ

あなたは現在、2009年Aprilの過去ログをしています。

April26日Sunday: 鳥博事務所、窓辺のナナフシモドキ近況！

カテゴリ: [General](#) 投稿者: [saito](#)

当ブログ3月14日に紹介しました、鳥の博物館事務室窓辺のナナフシモドキが、困難を乗り越え、ここまで成長しました。



3月19日脱皮。この時、前脚2本を脱皮殻の方へ残してしまい、四脚の昆虫になってしまいました。

検索

検索

ナビゲーション

[前の月](#)

[次の月](#)

[今日の投稿](#)

[過去ログ](#)

カテゴリ

[全てのカテゴリ](#)

[General](#)

[お知らせ](#)

[観察会](#)

[観察会下見](#)

[昆虫](#)

[植物](#)

ログイン

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

ログイン

リンク

[我孫子市鳥の博物館](#)

[google.co.jp](#)



3月26日、前肢の基部にやや膨らみが見えます。再生の兆しか？



4月15日、さらに前肢が伸びているようですが、先の方はループ状になってしまいました。



4月25日、脱皮を終えると、ループ状に巻いていた前肢は、もとのとおり真っ直ぐ伸びて、機能回復していました。完全な再生です。

●最近の季節の話題！

- ・4/13 手賀沼下沼南岸の田んぼで、シュレーゲルアオガエルの声を聞きました、
- ・4/26 夕方6時頃、鳥の博物館周辺の田んぼからアマガエルの大合唱が聞こえてきました。

April18日Saturday: 「てがたん」 コースにニホンアカガエルのオタマジャクシが・・・

カテゴリ: General

投稿者: saito



4月14日、高野山に住む鳥博友の会会員のMさんが、持ってきてくれたオタマジャクシです。

博物館のすぐ近くの田圃で3月に見つけ、すくった卵塊から孵化したものだそうです。

今オタマジャクシが見られるカエルというと、幼体のままで越年するウシガエル、2月頃から産卵をはじめめるニホンアカガエル、その少し後に産卵するアズマヒキガエルです。

背中に二つの黒い点があることから、ニホンアカガエルのオタマジャクシのようです。

そうだとすれば、鳥の博物館周辺の「てがたん」*コースで、はじめてアカガエルの生息が確認されたこととなります。

*「てがたん」とは、博物館周辺の自然を対象とした、月例（毎月第二土曜日 10:00から）の自然観察会（手賀沼定例探鳥会）のことです。

April12日Sunday: 手賀沼でオオセッカが囀っていました

カテゴリ: General 投稿者: saito

今日（4/12）11時15分ころ、鳥の博物館対岸の手賀沼岸辺で、コブハクチョウが弱っているという連絡があり、とりあえず見に行きました。人に慣れすぎているのか、少々弱っているのか分かりませんが、立派な糞もしているし、立ち上がって歩けるし、外傷もないので、とりあえず、サイクリングロード上から沼べりに誘導しました。平然と餌を食べていたので、大丈夫と判断しました。

やれやれと帰路につく前に、せっかくなので、桜に埋もれる？鳥の博物館の景観を対岸正面から撮影しようと、やや上流へ向かうと、特徴あるオオセッカの音が聞こえてきました。

コンパクトデジカメで、声と姿を記録しました。



手賀沼周辺、利根川の北新田のヨシ原で、最近しばしばオオセッカの確認情報が入るようになりました。

そもそも国内では、青森、秋田、宮城、茨城、千葉の各地で局地的に生息が確認されている希少野生動物に指定されている鳥です。利根川最下流域のヨシ原ではまとまった生息地が知られていますが、我孫子周辺ではそれほどポピュラーな鳥ではありません。

今後の動向が注目される鳥の一つです。

今日は、鳥博自然情報として、博物館前の遊歩道に、八重桜が見頃になりはじめていることをお知らせする予定でしたが、オオセッカの声の大きさが勝りました。

April 9日Thursday: 気がつけば、すでに花見の最盛期! ?

カテゴリ: General

投稿者: saito



鳥博の裏山も、そろそろ筍シーズン!!



手賀沼遊歩道のサクラ‘染井吉野’も満開でした。



博物館前のゲンゲ畑の花も咲きました。

(以下は、少し過去にさかのぼった出来事です)



・4月6日、ジーと電線からのノイズのようなクビキリギスの声をききました
(写真は昨年のも)。成虫越冬するキリギリスの仲間、春真っ先に鳴き出します。



・4月2日、企画展（鳥の骨）が終了のため、玄関前の看板をはずしたところ、裏からヤモリが出てきました。企画展の看板は入館者のみならず、ヤモリも呼び寄せることができました。



・3月27日、鳥博1階事務室前のトキワサンザシに採餌に訪れたエナガ。寝ぐせがついたように、尾羽がクルリとカールしています。抱卵のため巣ごもりしている雌でしょうか。

とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2009-03 >

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

過去ログ

あなたは現在、2009年Marchの過去ログをしています。

March26日Thursday: 枝垂桜が咲き始めました！

カテゴリ: [General](#) 投稿者: [saito](#)



検索

検索

ナビゲーション

[前の月](#)

[次の月](#)

[今日の投稿](#)

[過去ログ](#)

カテゴリ

[全てのカテゴリ](#)

[General](#)

[お知らせ](#)

[観察会](#)

[観察会下見](#)

[昆虫](#)

[植物](#)

ログイン

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

ログイン

リンク

[我孫子市鳥の博物館](#)

google.co.jp



滝下広場ではエドヒガン（上の写真）とその品種の‘糸桜’（＝‘枝垂桜’）（下の写真）が咲き始めました。



滝下広場から鳥の博物館までの遊歩道のかたわらには‘十月桜’が咲いていました。こちらは二季咲きの桜で花期も長く、元旦探鳥会でも観察しました。今日は、付近をツマキチョウが低く飛んでいるのも確認できました。ツマキチョウは、昨年3月31日の当ブログでも紹介しました。

March26日Thursday: ★鳥博に寄せられた、春を感じさせる生き物情報！

カテゴリ: お知らせ

投稿者: saito

鳥の博物館には、博物館周辺で見つけた春を告げる情報が続々届いています。そのうちのいくつかをご紹介します。

2009.2.1：アカガエルの卵塊確認：岡発戸の谷津田
2009.2.13：サクラ開花情報01→‘寒桜’満開：高野山
2009.2.14：ウグイスの囀り確認情報：高野山
2009.2.16：サクラ開花情報02→‘河津桜’満開：道の駅沼南裏
2009.3.9：アズマヒキガエルの卵塊確認：岡発戸の谷津田
2009.3.12：コブシの花が咲く：鳥の博物館前
2009.3.25：ツバメの確認情報：北新田
2009.3.26：サクラ開花情報03→エドヒガン&‘糸桜’五分咲き：滝下広場（手賀沼遊歩道）
2009.3.29：ツマキチョウ確認：滝下広場付近

以上、博物館を包み込むように、春が近づくようすが分かります。
そろそろ花見の主役、‘染井吉野’も咲き始めそうです。

March14日Saturday: サーバー停止のお知らせ

カテゴリ: **General** 投稿者: **tokita**

お知らせ

鳥の博物館ホームページは3月17日（火）午前11時から数時間ほどサーバー保守のため、停止します。この間、ホームページがご覧になれません。ご了承下さい。

鳥の博物館

March14日Saturday: 今日の鳥博事務室、窓辺の風景

カテゴリ: **General** 投稿者: **saito**



2月19日に当ブログで紹介したナナフシモドキ、その後次々と孵化がはじまり、その中の一匹が、鉢植えのサクラの葉を食べて、少し大きくなりました。



今日もいつものエナガがやってきて、ピラカンサ（トキワサンザシ）の幹や枝についたマルカタカイガラムシの幼虫（樹皮上に白くポツポツ見えるもの）をせっせと食べ、数分で飛び去っていきました。

March 8日Sunday: こも巻きトラップをはずしました

カテゴリ: General

投稿者: saito



「こも巻き」は、松の害虫のマツカレハの越冬幼虫を捕らえて駆除するための、日本の伝統的なトラップの一種です。これを応用して、手賀沼遊歩道の越冬生物を調べようと、昨年11月1日に「こも」を20枚巻きました。今日（3月8日）これをはずして、越冬中の生物を回収しました。

代表的な生物の写真をいくつかアップしました。



エノキの幹に巻かれたこもの中で越冬していたゴマダラチョウの幼虫。



幹のすき間によく見かけるヨコヅナサシガメ。こも巻きは、絶好の越冬場所。



一番個体数が多かったのがエビグモの仲間（キンイロエビグモ）。



アリの姿そっくりのアリグモの仲間。

*この他、ゲジやムカデの仲間、クモの仲間…が多数回収されました。こもを巻いた植物を食害する、いわゆる“害虫”はほとんど見あたりませんでした。エノキを食樹とするゴマダラチョウの幼虫は、松とマツカレハの関係と同じですが…、“害虫”とは言いませんよね。

March 4日Wednesday: 難敵イラガの繭攻略法、コゲラの場合！

カテゴリ: **General** 投稿者: **saito**



その1 (撮影: 小笠原さん)



その2 (撮影: 小笠原さん)

3月1日付けの「自然通信」では、イラガの繭の羽化時の脱出孔を攻略して前蛹を食べるコイカルについて、小笠原さんの写真記録を紹介しましたが、今度はコゲラの攻略法を、またまた小笠原さんが写真記録してくれました。

ノミのような鋭い嘴を持つコゲラが、小枝への付着面からイラガの繭を攻略する様子がよく分かります。

March 1日Sunday: 手賀沼遊歩道のコイカル、イラガの蛹を食う!

カテゴリ: [General](#) 投稿者: [saito](#)



その1 (撮影: 小笠原さん)



その2 (撮影: 小笠原さん)



その3 (撮影: 小笠原さん)

鳥の博物館常連の小笠原さんが、手賀沼遊歩道でコイカルがイラガの繭から蛹を引き出して食べている様子を、順番に写真撮影して届けてくれました。

コイカルは、数年前に手賀沼公園のポプラの樹で繁殖していたのですが、倒木のおそれがあるということで撤去されて以来、どこで繁殖しているのかはわかりません。

手賀沼遊歩道にもしばしば姿を現します。

今回の写真からは、コイカルが、イラガの繭を嘴で割って、中の前蛹を引き出して食べる手順がよく分かります。イラガの繭は、長径の片端がきれいに割れています。ここは蛹が羽化する時の脱出孔となる部分であり、コイカルは、この孔に沿ってこじ開け易いことを学習しているようです。

コゲラも、よくイラガの繭をやぶって蛹を食べますが、小笠原さんの観察によると、熟練したコゲラは、繭が枝へ付着している柔らかい部分から攻めていくとのことでした。

とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2009-02 >

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

過去ログ

あなたは現在、2009年Februaryの過去ログをしています。

February25日Wednesday: こんな場所で食事！？

カテゴリ: General

投稿者: saito



↓

検索

検索

ナビゲーション

[前の月](#)

[次の月](#)

[今日の投稿](#)

[過去ログ](#)

カテゴリ

[全てのカテゴリ](#)

[General](#)

[お知らせ](#)

[観察会](#)

[観察会下見](#)

[昆虫](#)

[植物](#)

ログイン

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

ログイン

リンク

[我孫子市鳥の博物館](#)

[google.co.jp](#)



田んぼの水路などでよく見かけるコガモが、今日はこんな場所に出てきて食事をしていました。

今は、鳥にとって餌がいちばん少ない時期なのか、あるいはまた、渡りなど移動に備えて脂肪を蓄えようとしているのか・・・。

近づいても、飛び去りはせず、採餌に没頭していました。

アオジやオオジュリン、メジロやエナガ、シメ、ジョウビタキ・・・、出会う小鳥もみな、採餌に熱心で、おどろくほど間近に観察できました。

February19日Thursday: 鳥博ベランダのナナフシモドキが孵化しました！

カテゴリ: [General](#)

投稿者: [saito](#)



昨年の8月14日の「鳥博ブログ」で紹介したナナフシモドキの二世が誕生しました。鳥の博物館2階のベランダ（屋外）に卵を保管していたのですが、こんな時期に孵化するとは意外でした。孵化したてのナナフシモドキが花びらを食べたという記録もありますが、野生のものは、何を食べているんでしょうね。



とりあえず室内の鉢植えのサクラの葉にのっけてみました。

February18日Wednesday: 定期的にやって来るように・・・

カテゴリ: General 投稿者: tokita

事務所前の植え込みのピラカンサに付着しているカイガラムシを食べにエナガが定期的に来て来る（巡回）ようになりました。番（つがい）になっているのでしょうか、2羽の内、1羽には環境省の足環が付いております。エナガ自体が小さな可愛い鳥ですし、鳴き声も鈴のような音なので、事務所でも直ぐにその来訪がわかります。もうアイドルです。



February17日Tuesday: 鳥の博物館事務所窓辺に、エナガ来る！！

カテゴリ: General 投稿者: saito



今日（2月17日）昼過ぎ、鳥の博物館の事務所の窓縁のピラカンサ（トキワサンザシ）にエナガが2羽来ました。ブラインド越しにのぞくと、幹にびっしりと付着したカイガラムシを食べていました。



エナガの食べていたカイガラムシ。調べてみると、タマカタカイガラムシ（カメムシ目カタカイガラムシ科）のようです。樹皮にびったりとくっついている越冬幼虫もありますが、カビで少し黒ずんだ赤い殻（役割を終えたメス）の中を虫眼鏡で覗くと、うごめく小さなカイガラムシ幼虫が粉末状に詰まっていた。

February16日Monday: 鳥博周辺サクラ情報02

カテゴリ: General

投稿者: saito



2月16日、手賀沼大橋付近の道の駅沼南裏の土手にある‘河津桜（カワズザクラ）’が咲いていました。数本ある中で、日当たりのより場所の何本か、6～7部咲きでした。メジロやヒヨドリが早速蜜を吸っていました。

この品種は、野生種のオオシマザクラとカンヒザクラの雑種から作出されたもので、早咲きです。



これはスズメのしわざにちがいありません。蜜を吸うことに適応していないので、子房の部分食いちぎって蜜をなめ、花ごと落としてしまいます。満開のソメイヨシノの花が風も無いのにポタポタ落ちてくる・・・、この犯人がスズメであることはよく知られていますが、‘カワズザクラ’も蜜が豊富なのでしょう。早速スズメの餌になっているようです。

February13日Friday: イタチと遭遇！

カテゴリ: **General**

投稿者: **saito**



手賀沼水面の水鳥調査（2月13日）の際に、ヨシ原から顔を出したニホンイタチと遭遇しました！

手賀沼の下沼北岸、ピオトープ近くのヨシ原です。

手賀沼周辺では、しばしばイタチを見かけます。

ヨシ原でくらす鳥にとっては、きつとこわい存在なのでしょう！

February13日Friday: 鳥博周辺サクラ開花情報01

カテゴリ: General

投稿者: saito



2月13日、高野山小学校の校庭の‘寒桜（カンザクラ）’が咲きました。野生種ヤマザクラとカンヒザクラの雑種から作出された品種。早咲きの大輪の桜です。今年は、昨年の開花（2月26日）よりずいぶん早めです。

February12日Thursday: 今月の「てがたん」予告！

カテゴリ: 観察会下見

投稿者: saito

2月7日（土）、市民スタッフの皆さんと一緒に、今月の「てがたん」＝手賀

沼定例探鳥会の下見をしました。

今月のテーマは「立春の生き物を探そう」です。案内役の市民スタッフの古川さんは、冬芽を中心にみどころを披露してくれました。

この日観察したものの中から予告を2つ。

なお、本番は2月14日（土）、10:00までに鳥博玄関前に集合です。



開き始めたニワトコ冬芽。一つの芽に花芽と葉芽が一緒の「混芽」。



サル顔? クズの落葉痕。

February 8日Sunday: とりはく自然通信として再起をきして再出発です。

カテゴリ: **General** 投稿者: **tokita**

鳴かず飛ばずの閑古鳥状態の「てがたんブログ」を「とりはく通信」と改名して再出発です。

自然素晴らしさ楽しさを多くの方々に知らせようではありませんか。



Copyright | Nucleus CMS v3.64 | Valid XHTML 1.0 Strict | Valid CSS | [トップページに戻る](#) | Since 15,Mar.2008

とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2008-09 >

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

過去ログ

あなたは現在、2008年Septemberの過去ログをしています。

September19日Friday: 9月のてがたん報告

カテゴリ: [General](#) 投稿者: [saito](#)

9月13日のてがたんで採集したゴマグラチョウの卵が孵化しました。
幼虫の写真をご覧あれ。



検索

検索

ナビゲーション

[前の月](#)
[次の月](#)
[今日の投稿](#)
[過去ログ](#)

カテゴリ

[全てのカテゴリ](#)
[General](#)
[お知らせ](#)
[観察会](#)
[観察会下見](#)
[昆虫](#)
[植物](#)

ログイン

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

ログイン

リンク

[我孫子市鳥の博物館](#)
[google.co.jp](#)



Copyright | Nucleus CMS v3.64 | Valid XHTML 1.0 Strict | Valid CSS | [トップページに戻る](#) | Since 15,Mar.2008

とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2008-08 >

日	月	火	水	木	金	土
						1 2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
						31

過去ログ

あなたは現在、2008年Augustの過去ログをしています。

August13日Wednesday: クマゼミ

カテゴリ: **General** 投稿者: tokita

今日、市川の自宅近くの菩提寺でクマゼミが鳴いていました。墓参りだったので、ああ鳴いているなという程度ですが、数年毎に鳴き声が聞かれるようになってきました。我孫子周辺でも聞かれているのでしょうか？



関東地方でのクマゼミの鳴き声は・・・

検索

ナビゲーション

- 前の月
- 次の月
- 今日の投稿
- 過去ログ

カテゴリ

- 全てのカテゴリ
- General
- お知らせ
- 観察会
- 観察会下見
- 昆虫
- 植物

ログイン

ログインID:

パスワード:

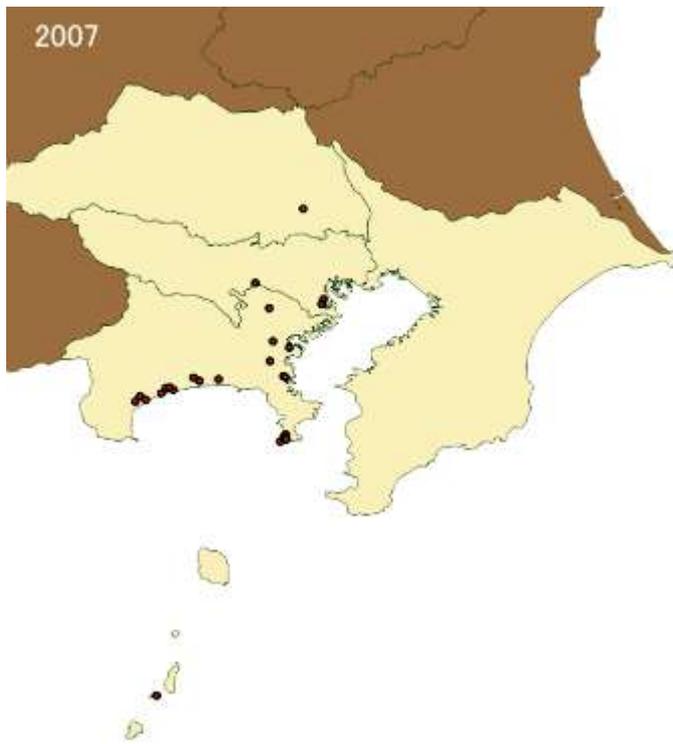
このPCを他の人と共用する

リンク

我孫子市鳥の博物館



google.co.jp



日本自然保護協会調査より

August10日Sunday: 8月9日てがたん、参考写真

カテゴリ: General 投稿者: saito

今日は、暑い中での「てがたん」でした。市民スタッフの皆さま、お疲れさまでした。

参考までに、3階集合シーンと、観察した水生生物の写真の一部をアップしました。



受付後、3階展望テラスに集合という新パターン



手賀沼のマコモ群落内にしかけた「もんどり」には、タイリクバラタナゴ多数とモツゴがいくつか入っていました



親水広場前の田んぼの水路で捕れたコガシラミズムシ（左）、トウヨシノボリ（中）、スジエビ（右）

*あの小さなゲンゴロウの仲間らしきものはコガシラミズムシでした



同水路では、ドジョウ（左）とヌマチチブ（右）も捕れました



以前撮影した、スジエビ（上）とテナガエビ（下）の見分け方です
＊額角（目先の突起）の形と突起の数がちがいます

August 3日Sunday: てがたん 8月の下見の時の写真です

カテゴリ: General 投稿者: saito

8月のテーマは「手賀沼の魚を見よう」。

8月2日の下見の時に見た生き物の写真などです。本番（8月9日）の参考にしてください。テーマの割には、魚の写真がありませんが、悪しからず！魚は当日観察しましょう。



水の館前の水田わきの水路で魚捕りの予行演習



“がさがさ”に挑戦する吉田くん



ミズカマキリの幼虫がいました（翅がまだのびていません）



ミズカマキリのカマのアップ



コアシナガバチの巣（付着点から一方向へ延びています）



イラガの幼虫に注意！（毒トゲに触れると激痛が・・・）カップパ噴水前のサクラの樹でたくさん見かけました



ヤマハギ樹上で交尾するヤマトシジミ（ヤマハギを食草とするルリシジミを記録したつもりだったのですが・・・先入観は禁物！）



いつも迷うルリシジミとヤマトシジミ、ざっとネットで調べてみると、識別ポイントはだいたいこんなところでした。ベテランは一目でJIZZを見分けるのでしょうが・・・。



上の識別方法基つくと、こちらがルリシジミですよ？



同じ場所にツバメシジミもいました



交尾中のシオヤアブ



イヌビエの種子を食べるスズメの幼鳥群



穂ったイヌビエの種

とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2008-04 >

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4 5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

過去ログ

あなたは現在、2008年Aprilの過去ログをしています。

April29日Tuesday: フクロウの卵3つ確認されました。

カテゴリ: General 投稿者: tokita

3卵確認



April19日Saturday: フクロウの卵2つ確認

カテゴリ: General 投稿者: tokita

本日フクロウの卵2つ目を確認しました。
もう一つあるような転卵のしぐさ、どうなのでしょう。

検索

検索

ナビゲーション

- 前の月
- 次の月
- 今日の投稿
- 過去ログ

カテゴリ

- 全てのカテゴリ
- General
- お知らせ
- 観察会
- 観察会下見
- 昆虫
- 植物

ログイン

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

ログイン

リンク

- 我孫子市鳥の博物館
- google.co.jp



April17日Thursday: シジュウカラの卵が孵化

カテゴリ: General 投稿者: tokita

先日孵化予定日が4月16日予定と書いた。
やっぱり孵化した。
ご覧下さい。

シジュウカラ (今のところ9卵しか見えない: 既に抱卵)

9卵として計算

4月16日孵化予定

5月1日あたりから3日あたりが巣立ち

さっそく♂♀で給餌か?



April 11日 Friday: 巣立ちの予定日

カテゴリ: [General](#) 投稿者: [tokita](#)

フクロウの卵が何個あるのかいまだに分からない状況ですが、4月8日に確認した1個はある。

斉藤学芸員が巣立ち予定日を試算したので紹介する。順調なのかどうか分かりませんが兎にも角にも巣立って欲しい。

フクロウ

第1仔の孵化予定は5月4日から6日と見られます。

第1仔の巣立ちは最短で6月3日から遅くて9日頃かなと思いますが・・・

シジュウカラ（今のところ9卵しか見えない：既に抱卵）

9卵として計算

4月16日孵化予定

5月1日あたりから3日あたりが巣立ち

それぞれのアーカイブ画面から目が離せませんね。

まだご覧になっていない方は鳥の博物館Webトップから[ライブカメラ]をクリックして下さい。

April 9日 Wednesday: 待ちにまったフクロウの産卵

カテゴリ: [お知らせ](#) 投稿者: [tokita](#)

昨日8日、待望のフクロウの産卵が確認された。シジュウカラと良いフクロウと良い、新年度を祝う好事。

これからが楽しみなライブカメラってことになります。

産卵、卵が見えた瞬間です。祝 産卵



とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2008-03 >

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

過去ログ

あなたは現在、2008年Marchの過去ログをしています。

March31日Monday: 滝下広場でツマキチョウが・・・

カテゴリ: 昆虫 投稿者: saito

3月29日の夕方、滝下広場の桜（エドヒガンとその改良品種の‘糸桜＝枝垂桜’）の花を見に行ったところ、ツマキチョウの雌雄が交尾していました（写真）。



エドヒガンの花を背景にツマキチョウが交尾してました

March26日Wednesday: ヒキガエルの産卵と来訪者

カテゴリ: General 投稿者: tokita

3月24日の未明に産卵があったようで、包接を解いたヒキガエルの♂がライブカメラに映し出されていました。そこで24日午後に確認に行ったところヒキガエルの産卵を確認しましたのでお知らせいたします。なお、26日午前9時台にはアカハラが来ました。

ヒキガエルの卵塊

検索

検索

ナビゲーション

[前の月](#)
[次の月](#)
[今日の投稿](#)
[過去ログ](#)

カテゴリ

[全てのカテゴリ](#)
[General](#)
[お知らせ](#)
[観察会](#)
[観察会下見](#)
[昆虫](#)
[植物](#)

ログイン

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

ログイン

リンク

[我孫子市鳥の博物館](#)

google.co.jp



♂のヒキガエル



やって来たアカハラ



March20日Thursday: 何ともう一匹のヒキガエル参上

カテゴリ: **General** 投稿者: **tokita**

本日ヒキガエルがもう一匹博物館の荷解室シャッター前で佇んでいました。早々に知らないうちに人造池にいたヒキガエルのもとへ入れました。入れて直ぐに17時15分頃に包接しました。これで池にヒキガエルの卵を入れなくとも良かったかも知れません。



March20日Thursday: ヒキガエルがやって来た。

カテゴリ: **General** 投稿者: **tokita**

鳥の博物館裏につくった沼にヒキガエルがやってきました。主になってくれると良いですね。今日は斜面にカンアオイを植栽します。

今日の6時台にはカメラの前でヒキガエルがポーズとって一鳴きしてくれたようです。ヒキガエルのパフォーマンスをご覧ください。(ヒキガエルのパフォーマンスをクリックしてみてください) 見所は6時40分過ぎからです。笑えます(^^)

これからこの沼を中心にいろいろと遊んでいきましょう。



Copyright | Nucleus CMS v3.64 | Valid XHTML 1.0 Strict | Valid CSS | [トップページに戻る](#) | Since 15,Mar.2008